

「令和7年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」
確定版



令和8年7月

伊勢湾再生推進会議

目次

1. はじめに	1
2. 「令和7年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要	2
2.1 伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間	2
2.2 伊勢湾流域圏一斉モニタリングの種類.....	3
2.3 伊勢湾流域圏一斉モニタリング参加者.....	3
2.4 水質調査地点	5
3. 代表的な伊勢湾流域圏一斉モニタリングの実施状況	7
3.1 学校の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング	8
3.2 団体・NPO 法人・個人の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング	9
3.3 企業の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング	36
3.4 行政機関の伊勢湾流域圏一斉モニタリング	43
4. 伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査結果	46
4.1 分析による水質調査.....	46
4.2 簡易水質テスト結果.....	55
4.3 簡易水質テストにおけるアンケート結果の経年変化.....	63
5. 参考資料1 伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間気象・海象状況	76
6. 参考資料2 定点的なモニタリングの結果.....	81

1. はじめに

2025（R7）年度も多くの方々に「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」にご協力いただきまして、ありがとうございました。

伊勢湾再生推進会議では、「人と森・川・海の連携により健全で活力ある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした伊勢湾再生行動計画に基づき、伊勢湾再生に取り組んでいます。

伊勢湾流域圏においては、より良い水環境のもと、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾”、産業物流拠点としての優れた機能を活かしながら、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる“活力ある伊勢湾”を再生するため、沿岸域だけでなく、広く流域圏の“人と森・川・海”が連携して伊勢湾再生に取り組んでいくとともに、これらの取組を継承していくことが大切だと考えています。

この度は、その一環として、皆様と流域圏の自治体などが、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に伊勢湾流域圏一斉モニタリングを行いました。伊勢湾流域圏一斉モニタリングにより、伊勢湾流域圏全体の水環境を知ることができます。

この「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を通じて、市民の皆様に、伊勢湾にもっと関心を持っていただき、伊勢湾再生のさらなる推進につなげてまいりたいと思います。

今回は確定版として分析による水質調査、簡易水質テストによる調査、ごみ調査、水生生物調査の結果について取りまとめました。



図 1-1 伊勢湾流域圏

注）伊勢湾流域圏とは、伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域のことです。

（上の図の水色および緑色で示した部分）

- ・伊勢湾再生推進会議構成団体：国土交通省中部地方整備局・海上保安庁第四管区海上保安本部・内閣府地方創生推進事務局・農林水産省東海農政局・林野庁中部森林管理局・水産庁漁港漁場整備部・経済産業省中部経済産業局・環境省中部地方環境事務所・岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市・名古屋港管理組合・四日市港管理組合

2. 「令和7年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要

2.1 伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間

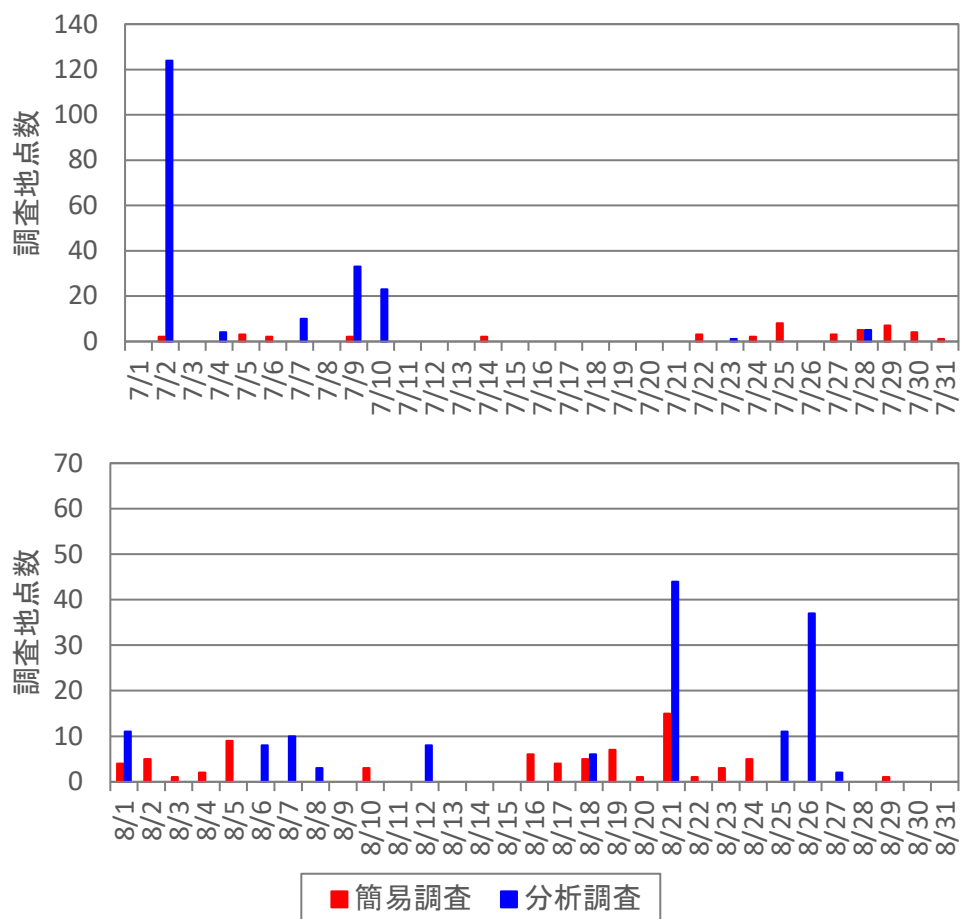
2025（R7）年度は、下記のスケジュールにて伊勢湾流域圏一斉モニタリングを実施しました。

<2025（R7）年度のスケジュール>

2025（R7）年									2026（R8）年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			←→								

伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間：2025（R7）年7月1日（火）～8月31日（日）

※2025（R7）年度は統一実施日なし



※1団体で複数地点調査している場合もある。

図 2-1 2025(R7)年度における伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間内の調査地点数の推移

2.2 伊勢湾流域圏一斉モニタリングの種類

伊勢湾流域圏一斉モニタリングでは、主に市民の方々が参加した「簡易水質テスト」、「ごみ調査」、「生物調査」、主に自治体が参加した「分析による水質調査」を実施しました。

2.3 伊勢湾流域圏一斉モニタリング参加者

2025（R7）年度も伊勢湾再生に関心をお持ちの多くの団体・機関から参加いただきました。

表 2-1 参加団体数の推移

年度	分析による 水質調査	簡易水質テスト・ごみ調査・生物調査	
		団体数	参加人数
2025（R7）年度	22	38	585
2024（R6）年度	26	41	559
2023（R5）年度	21	43	653
2022（R4）年度	25	38	567
2021（R3）年度	27	39	462
2020（R2）年度	27	44	666
2019（R1）年度	21	43	806
2018（H30）年度	22	39	612
2017（H29）年度	25	48	945
2016（H28）年度	17	51	970
2015（H27）年度	31	71	（集計値なし）
2014（H26）年度	15	76	675
2013（H25）年度	29	83	（集計値なし）
2012（H24）年度	46	59	（集計値なし）
2011（H23）年度	42	49	（集計値なし）
2010（H22）年度	51	67	（集計値なし）
2009（H21）年度	35	60	（集計値なし）

※参加人数は記載のあったものだけカウント

◆ 分析による水質調査（五十音順）

【行政機関】

愛知県建設局（一宮建設事務所管内、尾張建設事務所管内、海部建設事務所管内、知多建設事務所管内、知立建設事務所管内、西三河建設事務所管内、東三河建設事務所管内）、伊勢湾再生海域検討会事務局（中部地方整備局港湾空港部）、岐阜県可児市、岐阜県関市、岐阜県瑞浪市、岐阜市環境部環境保全課、岐阜県環境管理課、第四管区海上保安本部海洋情報部海洋調査課、中部地方整備局（木曽川下流河川事務所、木曽川上流河川事務所、庄内川河川事務所、豊橋河川事務所、三重河川国道事務所、矢作ダム管理所、横山ダム工事事務所）、名古屋市環境局地域環境対策課、三重県津市、四日市港管理組合

◆ 簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査（五十音順）

【行政機関】

伊勢湾再生海域検討会事務局（中部地方整備局港湾空港部）、岐阜県岐南町、第四管区海上保安本部

【市民団体・NPO 法人】

CAEA 渥美半島環境活動協議会（亀の子隊）、伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局、稲葉山観測所、ウミガメネットワーク三重、NPO 法人伊勢湾フォーラム、NPO 法人木曽三川ごみの会、扇川を愛する緑の会、小里川ダム里山教室、尾張西部生態系 N/W T・海部野川、各務原市生活学校、金山町生活学校、可児市（めだかの楽校）、亀山の自然環境を愛する会、川ナビ歩こう会、国連支援交流協会名古屋事務局、鯉城・堀川と生活を考える会、清水川を愛する会、白鳥庭園、スティッチ、土岐川・庄内川流域ネットワーク、引山学区保健環境委員会、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会、みどりのまちづくりグループ、矢田・庄内川をきれいにする会、養老町女性会議、養老町生活と環境を考える会、レッ津！夢みなとプラン推進協議会

【企業】

小塩通信株式会社、神野建設株式会社、株式会社東海環境調査、東芝プラントシステム株式会社、東洋建設株式会社、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会、パブリックサービス

【学校】

光陵中学校（三重県桑名市）

2.4 水質調査地点

2025（R7）年度の伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査地点数は、分析による水質調査は379地点、簡易水質テストは122地点でした。

表 2-2 伊勢湾流域圏一斉モニタリング地点数の推移

	分析による水質調査			簡易水質テスト		
	陸域	海域	計	陸域	海域	計
2025（R7）年度	309	70	379	78	44	122
2024（R6）年度	267	83	350	103	44	147
2023（R5）年度	199	75	274	108	44	152
2022（R4）年度	220	69	289	132	35	167
2021（R3）年度	236	80	316	103	35	138
2020（R2）年度	231	72	303	147	31	178
2019（R1）年度	212	51	263	133	38	171
2018（H30）年度	266	61	327	109	22	131
2017（H29）年度	285	40	325	128	32	160
2016（H28）年度	215	164	379	160	31	191
2015（H27）年度	422	77	499	225	27	252
2014（H26）年度	259	80	339	132	32	164
2013（H25）年度	328	125	453	159	33	192
2012（H24）年度	450	223	673	357	32	389
2011（H23）年度	483	109	592	119	34	153
2010（H22）年度	569	234	803	189	39	228
2009（H21）年度	264	69	333	78	28	106

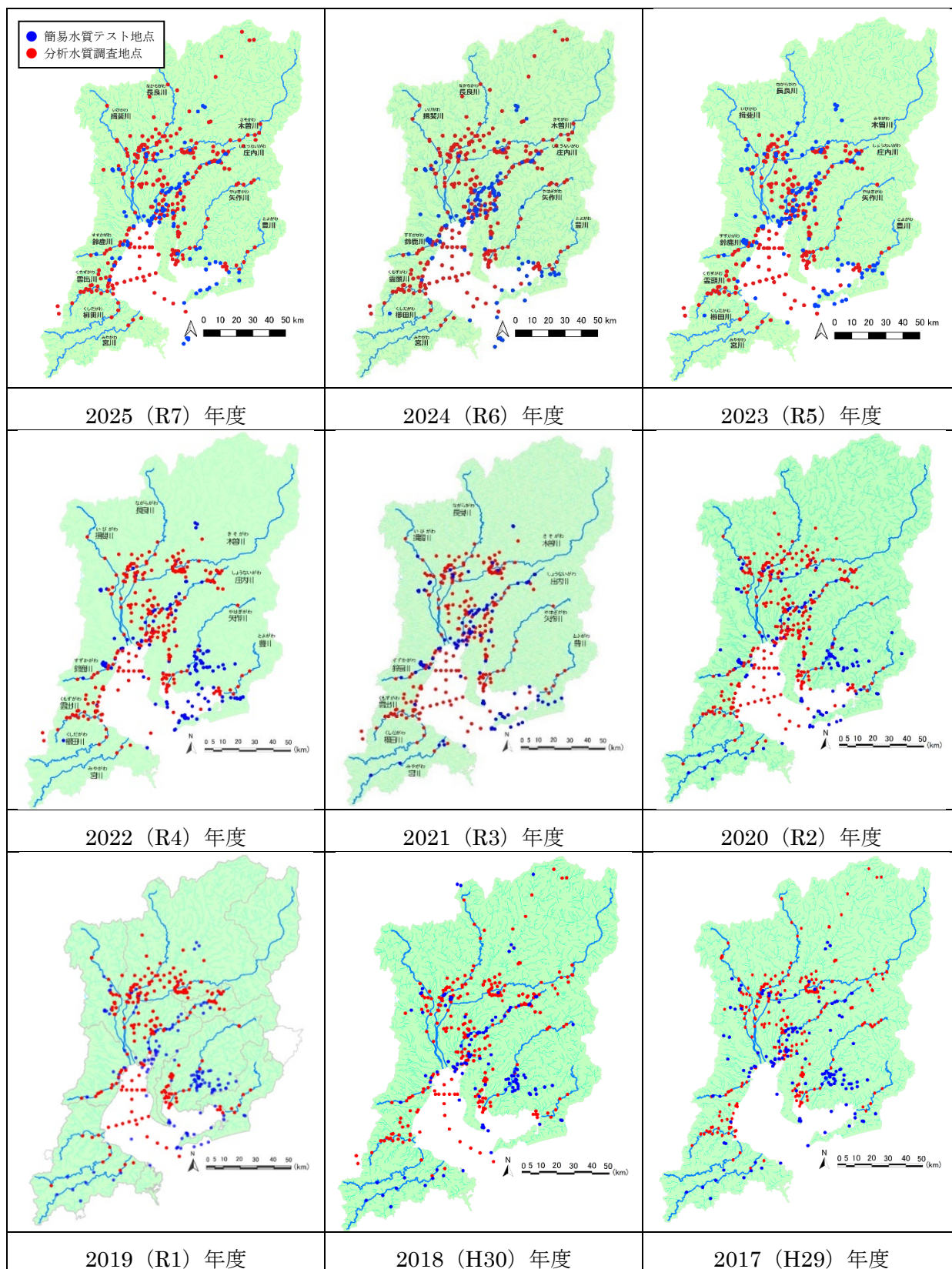


図 2-2 2017(H29)年度～2025(R7)年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング地点
 ※海域では同じ地点で水深を変えて測っている箇所があるが、同一地点として整理。

3. 代表的な伊勢湾流域圏一斉モニタリングの実施状況

参加団体の皆さんから伊勢湾流域圏一斉モニタリング結果とともに、沢山の実施状況の写真、感想やご意見等を頂きました。ここでは、参加団体の皆さんから頂きました写真等を紹介させていただきます。いただいたご意見等は、今後の伊勢湾流域圏一斉モニタリングの改善にも役立てたいと思います。

なお、コメントや実施の様子がわかる写真がない場合については、実施概要及び実施位置のみ整理しました。

3.1 学校の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング

団体名：桑名市立光陵中学校 自然科学部 実施日：2025（R7）年7月31日、8月29日 主な観測地点：員弁川、嘉例川 参加人数：12人（7月31日）、11人（8月29日）	調査位置図
【感想やご意見等】 ・ 2回目ということもあり、川の水質調査としては完ぺきではなかったかもしれない。水は昨年とかわらないような結果となりうれしかった。多くの魚がふだん見る川に多くいることがわかった。ごみを捨ててはいけないと思った。→ 水がきたなくなる。魚がすめない。 ・ 例年に比べて暑さが増していました。部員からは暑いという意見が一番多かったです。川の中には、魚、エビ、カエルなど多種多様な生物が生息していました。何人かからは、「魚とエビを捕まえることができた。」「15cm くらいの大きい魚を見かけた。」と報告を受けました。昨年度よりも川周辺の雑草が増えているように感じました。またビニールのようなごみも落ちていました。川の水の色は茶色や黒色に見えました。澄んでいて匂いはあまり感じませんでした。水質調査キットでは数値が低く水質は良い状態だと感じました。今回の水質調査では川の状態や生物の状態を理解することができて満足です。しかし熱中症になる人がいたため今回の調査を生かし対策をしたいと思った。	

3.2 団体・NPO 法人・個人の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング

団体名：渥美半島環境活動協議会	調査位置図 
実施日：2025（R7）年8月21日 主な観測地点：三河湾、伊勢湾、太平洋 西の浜、小中山、向山港 石神、伊川津、宇津江、馬草 参加人数：4人	

団体名：伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局	調査位置図 
実施日：2025（R7）年8月22日、24日 主な観測地点：土岐川、万尺川 参加人数：2人（8月22日）、 1人（8月24日）	
【感想やご意見等】 川の水が去年に比べ少なかった。 モニタリングの調査に参加することにより、川への関心を持つきっかけになると思います。 多くの方が参加できると良いと思います。	

団体名：稲葉山観測所 実施日：2025（R7）年8月17日 主な観測地点：拾石川、三河湾 参加人数：3人	調査位置図
【感想やご意見等】 昨年・一昨年に引き続き、「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」に参加させていただきありがとうございます。 この夏は非常に降雨量が少なく、また酷暑が長期間続いているため、各調査箇所とも、昨年と比較して生き物の種類・数共に減少している感じをうけました。来年以降、この影響がどのように出てくるのか懸念されます。 調査箇所の水質は非常に良好であると思われます。この状態が継続・また、さらに改善されるよう、海岸保全活動などに参加していきたいと思っています。 来年も調査に参加させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。	

団体名：ウミガメネットワーク三重 実施日：2025（R7）年8月10日、8月23日 主な観測地点：楠漁港、伊勢湾 芦原海岸 参加人数：3～6人（8月10日）、 3人（8月23日）	調査位置図
【感想やご意見等】 - 暑い日であったが、途中で雨が降って来た。思っていたよりも水はきれいで、特に匂いもなかった。海岸のごみも比較的少なく、きれいだった。波も高くなく水も採取しやすかった。 - 前回よりも水面に流木や植物などのごみが多かった。波は前回と同じ程度で水も採取しやすかったが、ごみ（木くず）がたくさん入り、何度か取り直した。水温が高く全体的に、前回より数値が高くなっている。 - ぽつぽつ雨が降ってきそうな曇り空の日でしたが、海は穏やかできれいでした。近くの海が、こんなに水が澄んでいたことに参加したみんなで驚いていました。 - 初めての調査では、身近な海の水が思ったよりきれいだと感じましたが、2回目の調査では暑さが、続いてたためか、海の匂いも感じ、水の濁りもあるようでした。 - 調査では、CODの値が高くなっており、酸素の不足が起こっているようでした。調査の前、1週間以上猛暑が続いており、暑さのせいで酸素不足が起こっていると考えられました。	

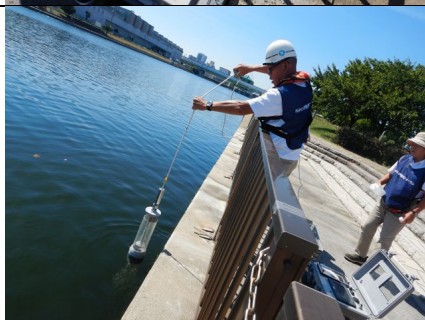
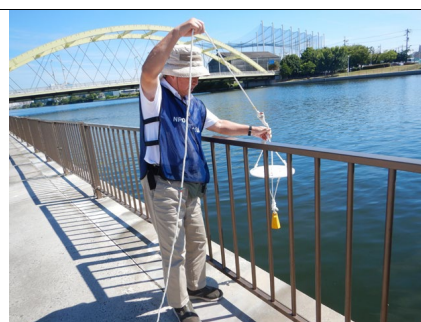
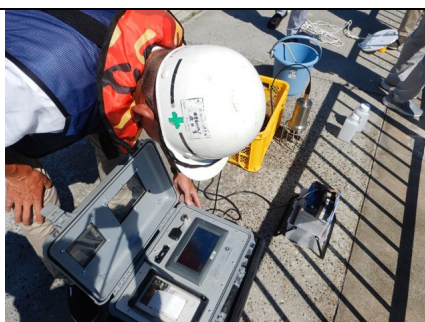
団体名：NP0 法人伊勢湾フォーラム

実施日：2025（R7）年8月7日

主な観測地点：中川運河いろは橋付近、
中川運河小栗橋付近

参加人数：5人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 毎年中川運河でのモニタリング調査に参加していますが、当初はじめてころより、人々が環境やごみ、河川、運河、海に関心を寄せていることが、この場所を見てよりわかるようになってきました。昨年の運河とは違い、イキイキとした陽の当たる運河の様子が見られます。今回は、閘門近くの「いろは橋」のみのモニタリング調査であったので、ごみがあることを想定していましたが、今回は浮きごみは見当たりませんでした。きれいさのデータ的には普通ではあるが、中川運河では、一年を通して清掃活動を行っている団体や回数が多くなり、人々により近くなってきた運河であると毎年思います。

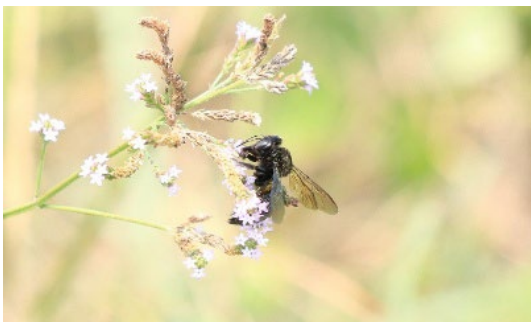
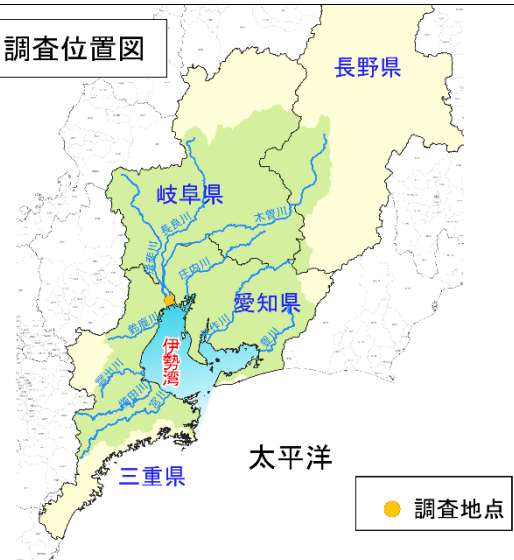
団体名：NPO 法人木曾三川ごみの会

実施日：2025（R7）年8月19日

主な観測地点：揖斐・長良川左岸

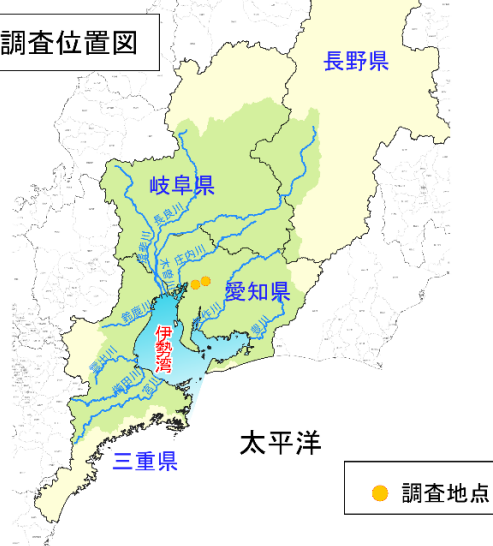
参加人数：6人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 毎年雨季になり上流部より出水があると、木曾三川河口部に、大量のごみ等が流れてきます。その一部が川岸に漂着します。その頃に毎回この行事に地域の児童と参加をさせていただき、児童が環境問題を考えるいい機会ととらえていました。働き方改革等で学校との調整が難しく児童を交えた活動が出来ず残念に思っています。

団体名：扇川を愛する緑の会	調査位置図 	
実施日：2025（R7）年7月27日 主な観測地点：扇川 参加人数：1～3人		
		
		
【感想やご意見等】 - 夏の水質としては、結果も透視度も普段より良い結果だった。満潮時と干潮時とでは、特に変化は無く COD に関しては夏の数値として普段と同じくあまり良くない結果でした。生き物は、満潮時にはコイ、赤トンボがかなり確認できたが、干潮時には、コイ、小魚（ボラの子）の群れが多数、カメが1匹確認できた。橋を渡られる方が数人おられたが、大概の方はいつも通り「何が釣れますか？」と聞かれます。水の汚れを調査していますと答えると、年配の方は以前よりかなりきれいになった。（絞りの排水がかなり多かった）もっと昔は、泳いだことがあるとか、米を研いだことがある？なんて話が出てきます。干潮時に、話しかけられた方は、ルアー釣りを15分ほどされた後、川の汚れに関心があり魚や生物を中心に観察されているとのこと。以前、体長70cmのセイゴを釣り上げたことがあり、セイゴの子どももよく上がってきます。イシガメも確認しました。今年はウナギ、シジミが多い、手長エビ、ハゼの数は少ないそうです。多くの生物が生息していること、貴重な話を聞くことができ、同様に扇川に関心を持たれている方の存在にうれしくなりました。以前に比べると、ごみはかなり少なくなったと感じた。干潮時に、水底に沈んでいるホイールキャップが気になった。以前の様に、仲間を集って川に入って掃除ができると良いなと感じた。慣れ親しんだ地元の川なので、皆さんに関心を持っていただいて、いつまでもきれいな川であってほしいです。 - 夏の水質としては、調査結果はいつも通りだが、昨年と比べると透視度と共に若干悪い結果だった。扇川の水源と言っても街中の池なので、生活排水も流入しておりあまり期待はしていないが、きれいであってほしい。何年か前に、池の浚渫工事をしてからヒシが生えるようになり、今ではほぼ全面を覆うようになり、冬に枯れると池の水が茶色く濁ります。池の環境として、魚などの水中の生き物の生息にとってヒシの繁殖が良いものなのか、悪いのかわかりませんが何か、環境に対して講ずる時期、状態なのではないかと強く感じた。今回、採水地点の水際にも樹木が生えてきており、さらにヒシも多くなり採水するのも大変苦労した。以前、多く見られた数種類のトンボ（特にイトトンボ）が今回も確認できなかった。シオカラトンボ、アキアカネは数匹確認出来た。		

団体名：小里川ダム里山教室

実施日：2025（R7）年7月30日

主な観測地点：庄内川上流の土岐川本流

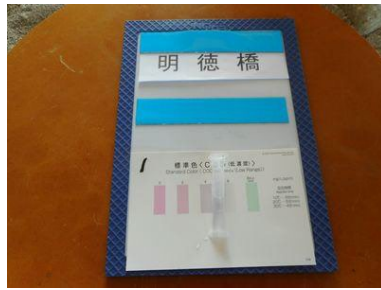
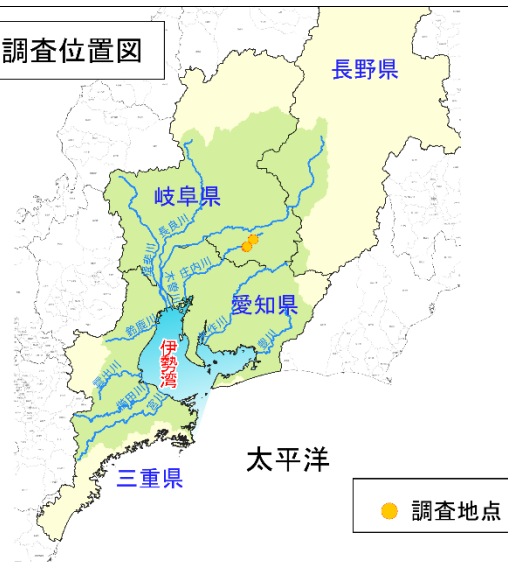
土岐川の支流の小里川

土岐川本流釜戸川

釜戸川支流佐々良木川

参加人数：6人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ①最近、雨がほとんど降らず、猛暑続きの影響で各地点水量は少な目であった。
 - ②ペットボトル等の目立つごみは、無かった。
 - ③第二地点の「はらみこ橋」では、護岸工事のため葦の茂みが少なくなって歩きやすかったがその反面、川辺に降りるのに脚立が必要だった。
- 雑感：見た目、水の汚れは少なく良い状況かと思うが、ここ数年と比較すると魚の種類や数が少なかった。上記①の影響か？

団体名：尾張西部生態系 N/W T・海部野川

実施日：2025（R7）年 8 月 16 日

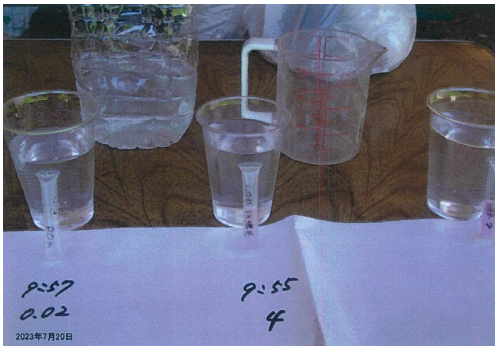
主な観測地点：庄内川下流、名古屋港西部、
第4・5区、イカダ川第2
操出川、和泉川等

参加人数：2 人

調査位置図



団体名：各務原市生活学校 実施日：2025（R7）年8月26日 主な観測地点：新境川、大安寺川、鉄砲川 参加人数：4人	調査位置図 
	
	
	
	
【感想やご意見等】 ・ 川の様子が天候により、水の量の増加だけでないことを感じた。	

団体名：金山町生活学校 実施日：2025（R7）年7月14日、24日 8月23日 主な観測地点：飛驒川、馬瀬川、菅田川 参加人数：1人（7月14日） 2人（7月24日、8月23日）	調査位置図 
	
	
【感想やご意見等】 ・ 上流で田の区画工事の為、砂が多く感じた。流れはいつもと変わらない。 ・ 晴天が続いた日の夕方に調べました。川はきれいに流れていた。近づくときれい好きとおっていた。学生がゴムボートを浮かべて遊んでいた。 ・ 毎年 COD の数値が高いですが、原因はわかりません。見た感じでは汚れている様には見えません。	

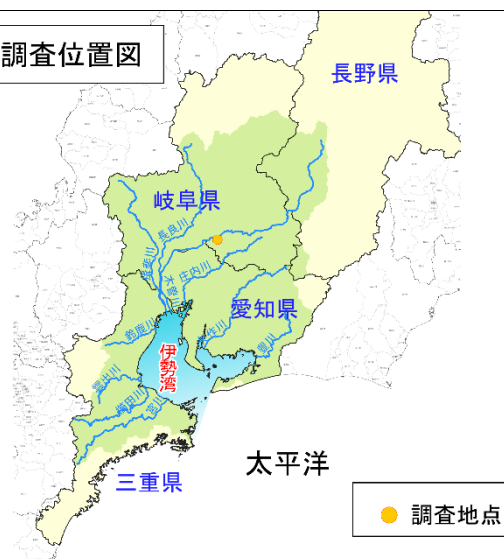
団体名：可児市めだかの楽校

実施日：2025（R7）年8月2日

主な観測地点：可児川

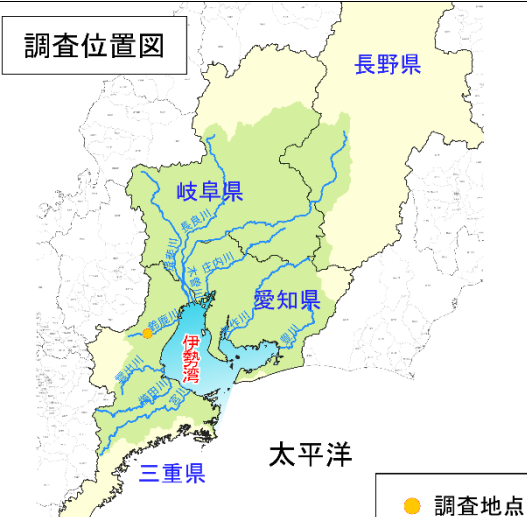
参加人数：48人

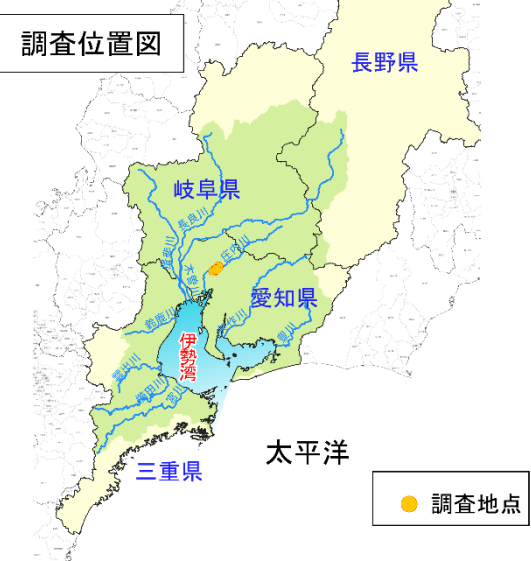
調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 例年、自分たちの団体の夏休みのイベント「カワゲラウォッチング」と同時開催として行ってきた。その理由としては大勢の人で水生生物調査を行うと、より多くの生き物を見つけることができること、大勢の参加者に海のない県である岐阜県ではあるが、自分たちの身近な川の先には海があること、川と海のつながりを参加者に感じてもらう事が大切だと思ってきたからです。しかし今年6月から施行された熱中症対策の義務化により、来年からはイベントの日程変更を余儀なくされている。多くの人にこの趣旨を現場で理解してもらう機会がなくなるのは残念に思います。

団体名：亀山の自然環境を愛する会	調査位置図 		
実施日：2025（R7）年7月2日 主な観測地点：鈴鹿川 参加人数：5人			
			
			
			
【感想やご意見等】 ・ 水の透明度が良く、水質調査数値も小さく、臭いもほとんどなく魚形も多く見られ亀山の誇る自然環境として維持していきたい。 ・ 自然石にコケが付着し、滑り易い川での行動には注意が必要。 ・ 水生生物にとって適した構造（岸边、森、淀み、たまり、砂礫、岩板、丁式堰堤など）があり多種の生物の良き棲み家になっている。 ・ 上流の堰堤より20m下流に岩を削った岩盤箇所はコケが育ちオイカワ等が餌として銀鱈を見せながら食している。アユも恐らくおれば見学できるだろう。美しい風景で釣りも出来る。 ・ 上流の堰堤は丁型の魚道が設置され理想的であるが、流れる水が少なく中央の一ヶ所から多量の水がふき出している。水量バランスは治水的にも必要では？ ・ 堰堤より上流は浅くて広いたまりと本流により、しかも人の出入りもほとんどなく絶景の生き物の楽園になっている。 ・ 忍山大橋の上、下流の数百米は浅く川体験にも適している。右岸、左岸の堤防からの岸までの道が橋間に1本がほしい。			

団体名：川ナビ歩こう会	調査位置図 
実施日：2025（R7）年7月22日 主な観測地点：堀川 参加人数：4～50人	
【感想やご意見等】 - 生物調査は大人気でたくさんの参加者がいました。 - 水質調査は少人数で行いました。 - 植物調査は植物に詳しい人をお願いしました。	

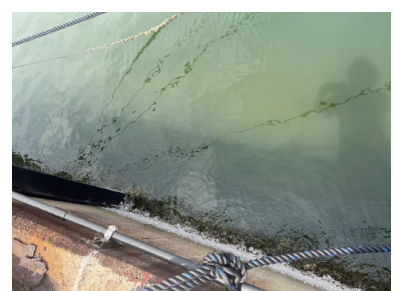
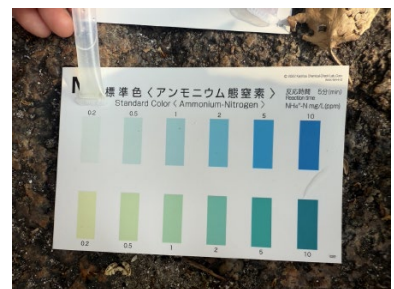
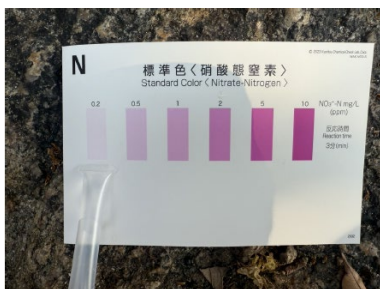
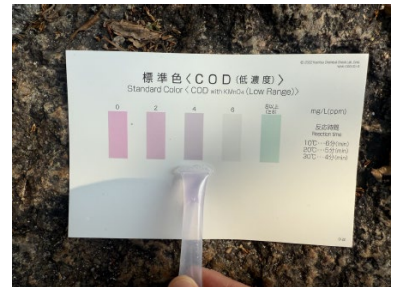
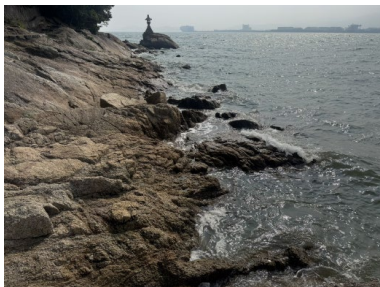
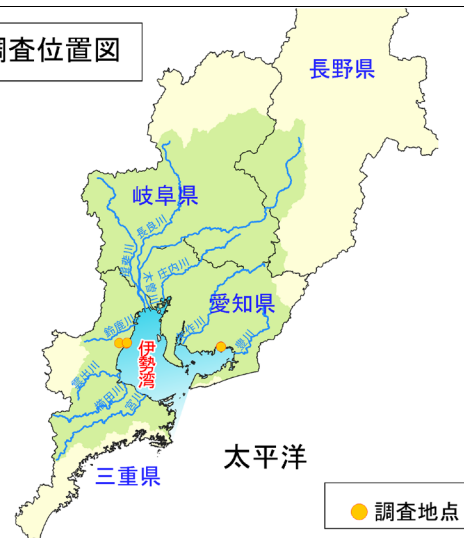
団体名：国連支援交流協会名古屋事務局

実施日：2025（R7）年8月4日、5日

主な観測地点：竹島、白子港

参加人数：3人

調査位置図



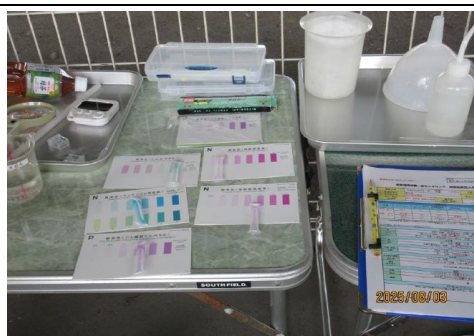
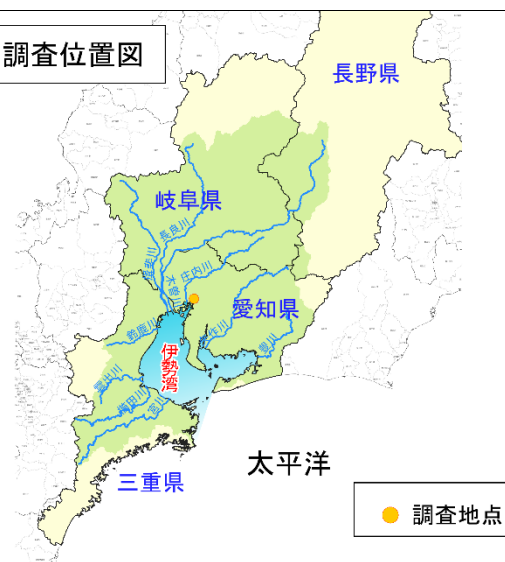
団体名：鯉城・堀川と生活を考える会

実施日：2025（R7）年8月3日

主な観測地点：堀川

参加人数：4人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 名古屋港 最大満潮時刻 14:09 1.90m 最大干潮時刻 18:42 1.72m（長潮）
たまたまと思うが生き物が見当たらない。ヨシなどの植物が豊かに生育していると良い。
右岸の護岸（水際）にごみが減っている。
生き物豊かな堀川にするには調査を継続し、その結果を多くの市民が知り、身近な川に関心を持つことが肝要。

団体名：清水川を愛する会 実施日：2025（R7）年8月17日 主な観測地点：新荒田川 参加人数：-人	調査位置図

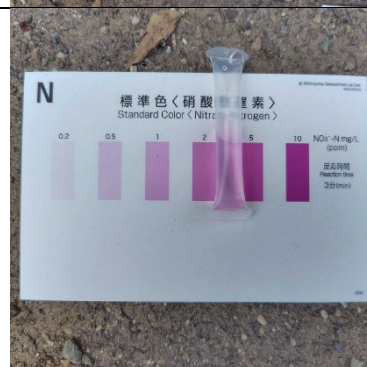
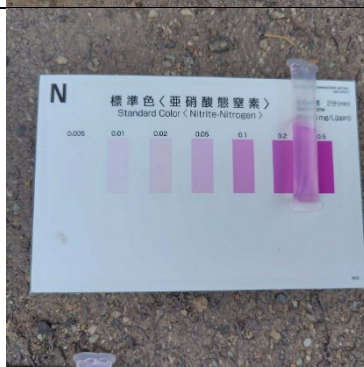
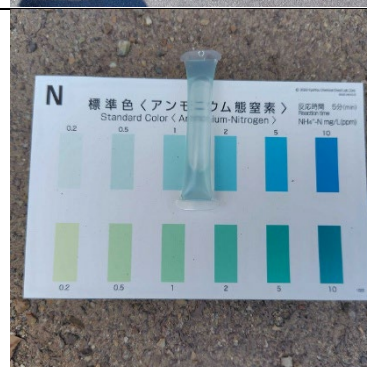
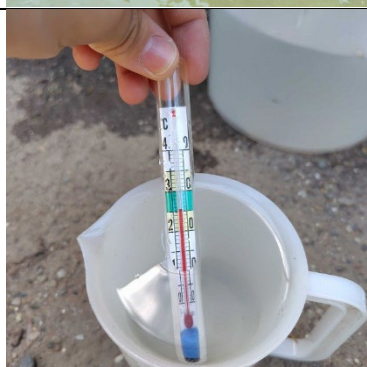
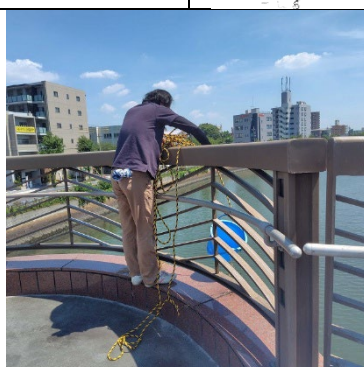
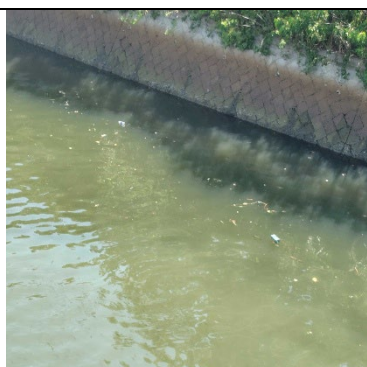
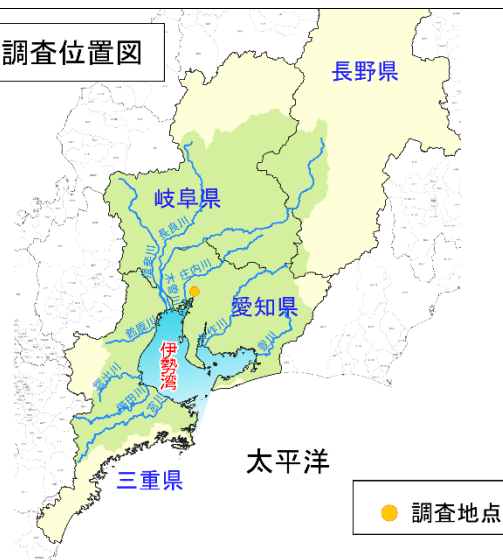
団体名：白鳥庭園

実施日：2025（R7）年7月29日

主な観測地点：堀川

参加人数：2 人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 橋の上から様子を見るとすごく水が濁っているように感じていましたが、バケツですくうと思ったよりもキレイでした。

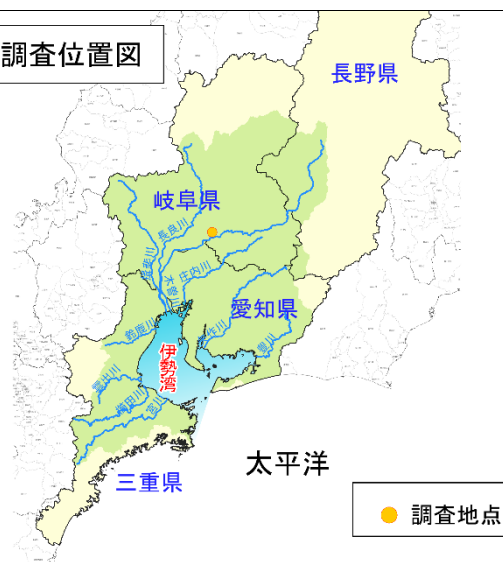
団体名：スティッチ

実施日：2025（R7）年7月9日

主な観測地点：加瀬田川

参加人数：3人

調査位置図



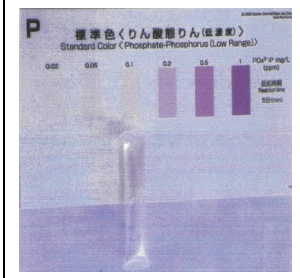
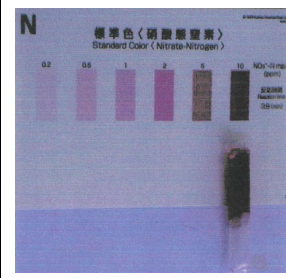
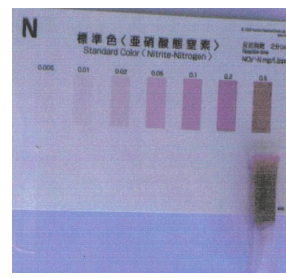
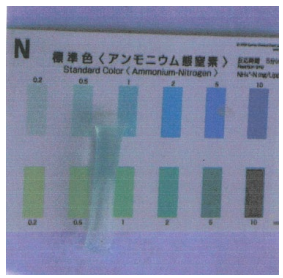
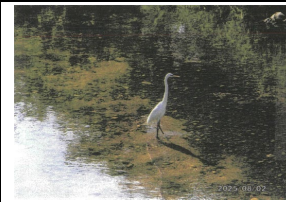
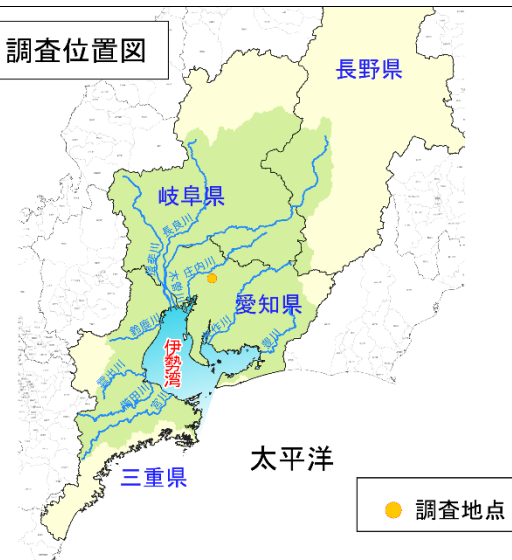
団体名：引山学区保健環境委員会

実施日：2025（R7）年8月2日

主な観測地点：香流川

参加人数：6人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 香流川流域、2025 年度は名古屋市名東区引山学区地域内である引山一丁目の、引山小学校をポイントと設定し活動をしています。（定点を決め記録することが異常の発見と、変化の単位が解ると思われるから）
 - ・ 香流川に集まる雨水は地域の保水力が弱いことが感じられる。少しの降雨でも増水の速い事、そして平常水に戻るにも早い事である。上流域の土地開発と自然ダムの減少が鉄砲水につながりそうである。
 - ・ 香流川の平常水量は、ここ数年は安定している様に見える。冬季も変わらず、ほぼ一年通して安定した水量である。
 - ・ 水の汚れは、令和7年度も、日常細かい泡状の白い色で、地域のみなさんは紙を溶かしたように見えるとの意見。
 - ・ 水の色は薄い黄色に濁っている。泥汚れは季節の水田耕作、河川工事の影響と思う。
 - ・ 虫、水生昆虫：今年はヤゴ類、トンボ類は視る事が無かった。セミ類は緑道の桜の木に多くいる。
 - ・ 両生類：通称ウシガエルは今年声聞かず、蛇にも会えず。
 - ・ 魚類 カメ類：昨年とくらべ減少している様に感じる。大物が減少。
 - ・ 鳥類 サギ類：鵜等河川に来る鳥類は昨年から今年、数は減った感じ、鳩は香流橋高架に居住。
 - ・ 藻類 草類 樹木：水中の岩石等に藻類が多く、増水が無いと川掃除も出来ず汚れがひどくなる。草類、木は昨年に比べ成長が著しく株も大きく数量も増加している。
- ※ごみ類に関しては今年も減ってきました。不法投棄も少なくなり通報の電話が今年度は無いです。（引山学区保健環境委員会への通報に関して、例年2～3件あり）

団体名：みどりのまちづくりグループ 実施日：2025（R7）年8月5日 主な観測地点：庄内川 参加人数：4人	調査位置図
【感想やご意見等】 ・ 連日暑い日が続く、右岸の花壇の花は勢いがなくなっているが、川沿いの草木は生き生きとしていた。毎年多くの昆虫を見かける場所だが、対岸のセミの声が聞こえるだけで調査中は全く目にしなかった。木陰での作業ではあるが、曇っているおかげで厳しい暑さが少し和らいだ時間帯に調査を実施できた。 ・ 兩岸とも緑の多い気持ちのいい場所だったのがそうでもなくなった。大量のごみはなかったが、ごみ拾いを続ける活動がないと、きれいな環境を維持できないと改めて思った。川床の藻は昨年から目につくようになっていた、今年はぎっしりと川床を埋めるようになっていた。 ・ 河川敷には釣り人1組だけで、畑耕作者を全然見かけないほどの暑さ。調査をした場所は、かつての自然体感イベントでのEボート乗り場だが、大水対策で河畔林がほぼ消滅して自然の豊かさの魅力がなくなり、河川敷は自然体感イベントを開く環境ではなくなってしまった。 ・ 流れは堰か止められ魚道を通るだけなので水は淀んでいて、数カ所から泡が湧きだしていた。河川工事で調査場所の五反田橋から上流が通行止めとなっているためか、今年は釣り人や涼みの人が出入りしている気配がなかった。一時的に太陽が出てきて、橋の下の調査場所までの数分の移動でも体にこたえるような暑さだった。	

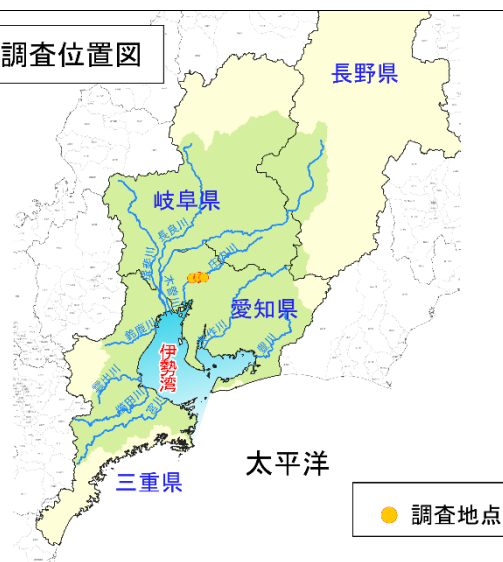
団体名：矢田・庄内川をきれいにする会

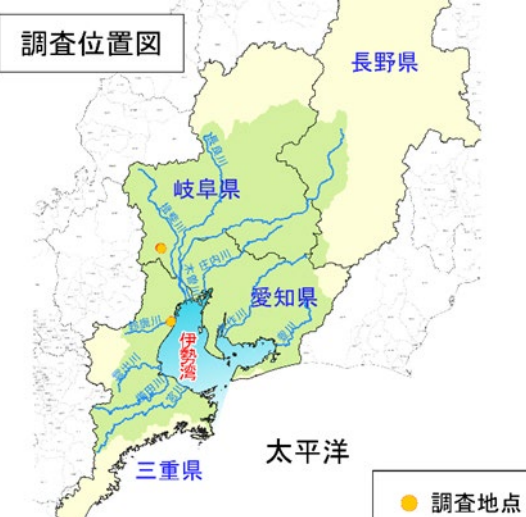
実施日：2025（R7）年7月5日

主な観測地点：庄内川、八田川

参加人数：7人

調査位置図



団体名：養老町女性会議 実施日：2025（R7）年8月24日 主な観測地点：五日市川、金草川 参加人数：5人	調査位置図 
	
	
	
【感想やご意見等】 ・ 猛暑の中、怪我も無く無事に調査に参加出来安堵いたしました。指数を必死に見出しながら、会員同士で相談し、結論を出し笑顔で語り合う姿は尊い一ページに感じました。伊勢湾流域の美しい眺めが続きますよう期待いたします。尊い事業に参加出来ます事を誇りに思い、今後も力を合わせ続けて行こうと思います。ありがとうございました。	

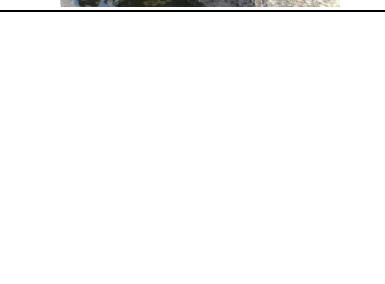
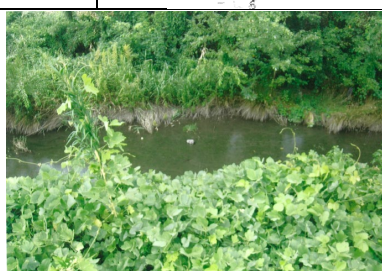
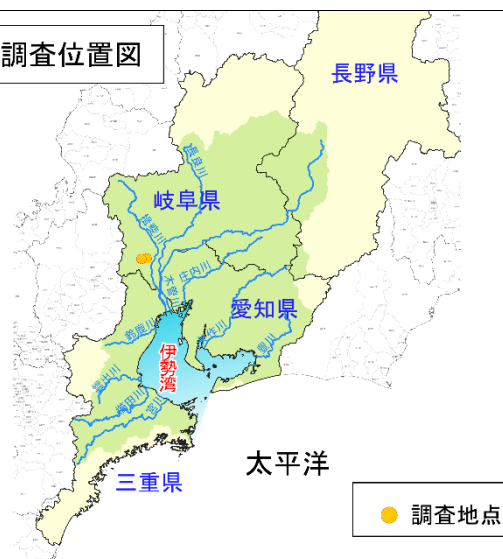
団体名：養老町生活と環境を考える会

実施日：2025（R7）年8月1日

主な観測地点：牧田川、小畑川

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 笹、ツル類が伸びて川の流れがさえぎられている。
- ・ 牧田川付近（堤防）の木、草の伐採がされてごみの散乱が少なくなりました。
しかし〈ポイ捨て〉されたペットボトル・空き缶等が伸びた草木に絡まっている所もあります。
濁水のため水は少し濁って、においを少し覚える所が目立ちました。

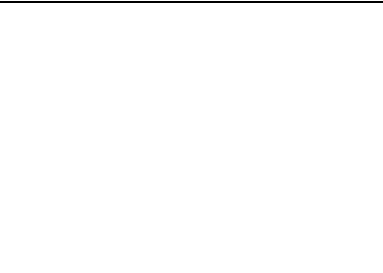
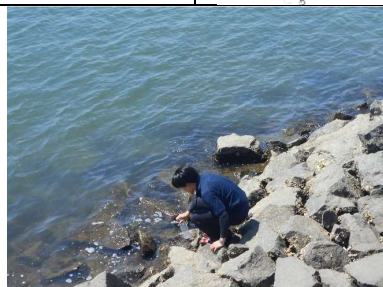
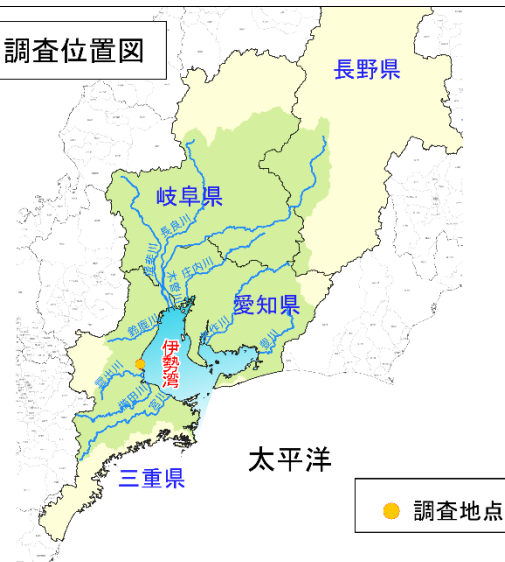
団体名：レッ津！夢みなとプラン推進協議会

実施日：2025（R7）年8月20日

主な観測地点：岩田川河口

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 当協議会では、中部国際空港への高速船アクセス港である「津なぎさまち」周辺の水質環境について、当該取組を通じて継続的に調査を行っている。
今回の調査において採取した水を水道水と比較したところ、目視においては細かい浮遊物が多少みられるものの、着色や濁りは認められず、また、パックテストによる試薬調査においても、各調査項目ともに低値を示し、昨年度の調査結果と比較しても特に大きな変化はなかったことから、水域の環境は概ね良好に保たれていることが確認できた。
周辺のごみに関しては、水面には見当たらないものの、水際には缶、ペットボトル、木くずなどが少ないながらも落ちていた。
伊勢湾流域圏が一体となって、このような調査を実施することは、自然環境の保全意識高揚の観点からも、非常に意義深いことであるため、今後も継続的な取り組みをお願いしたい。

3.3 企業の皆さんの伊勢湾流域圏一斉モニタリング

団体名：小塩通信株式会社 実施日：2025（R7）年8月2日 主な観測地点：長良川 参加人数：2人	調査位置図	
標準色<COD(低濃度)> Standard Color <COD with KMnO₄ (Low Range)>	標準色<アンモニウム> Standard Color <Ammonium>	標準色<亜硝酸> Standard Color <Nitrite>
標準色<硝酸> Standard Color <Nitrate>	標準色<りん酸(低濃度)> Standard Color <Phosphate (Low Range)>	
【感想やご意見等】 平成22年度より引き続き参加させて頂いております。 今年度は、とても暑い日が続いていたので、モニタリングの時間を早めにして参加させて頂きました。 長良川の水量がとても少ない為、川岸までたどり着くまで少し時間がかかりました。 川の水が溜まっている場所で多くの小魚を見ることが出来ました。水質が綺麗である証拠だと思います。 これからも引き続き実施させて頂きます。宜しくお願いします。		

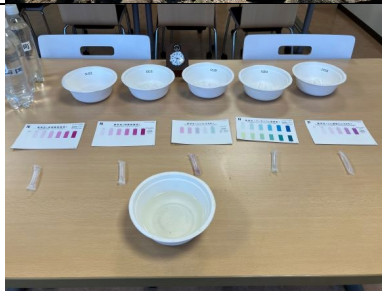
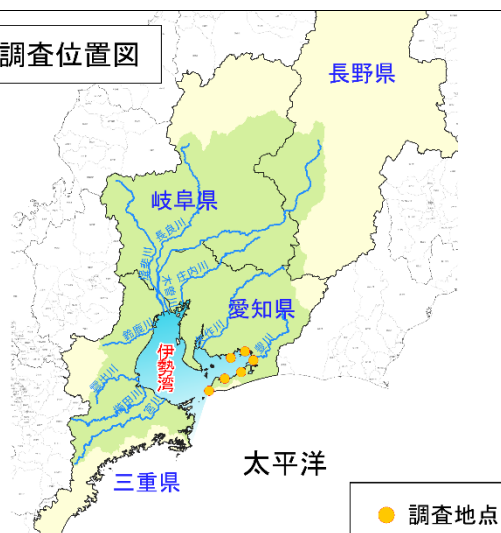
団体名：神野建設株式会社

実施日：2025（R7）年7月29日

主な観測地点：三河湾

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 全個所を通じ水質は良好であった。
また、パックテストでは色の変化がなく、測定範囲外(不検出)なのかわからない物質もあり検査精度に不安が残った。

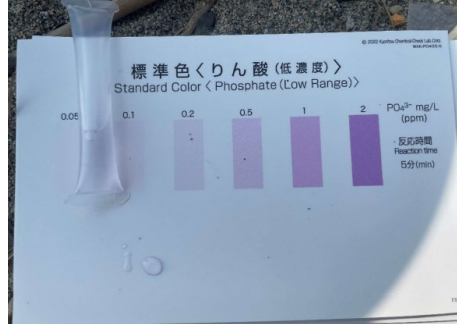
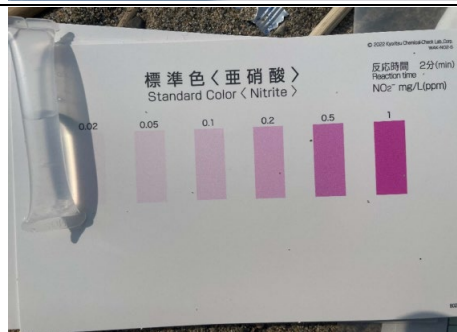
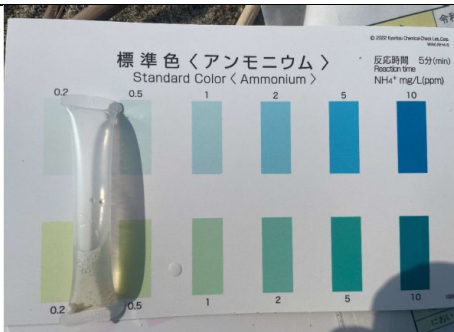
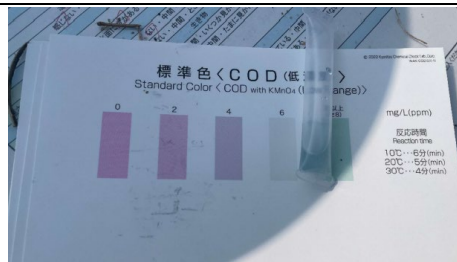
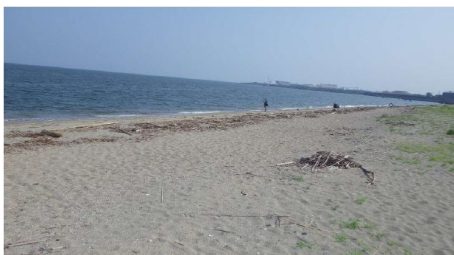
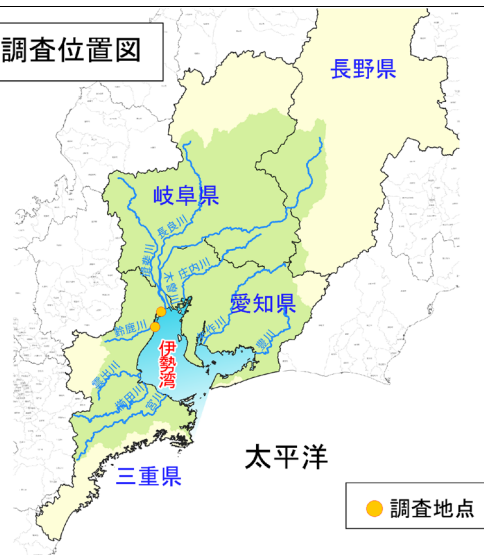
団体名：株式会社東海環境調査

実施日：2025（R7）年7月6日

主な観測地点：高松干潟、吉崎海岸

参加人数：2人

調査位置図



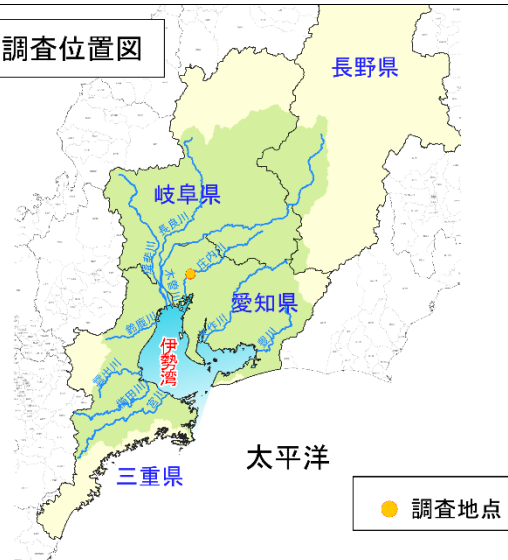
団体名：東芝プラントシステム株式会社

実施日：2025（R7）年7月24日

主な観測地点：庄内川

参加人数：3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 平成 27 年（2015 年）から参加させて頂き 今年 11 回目になりました。最近の異常な暑さが気になり名古屋の年間最高気温を調べたら 昨年 2024 年は「39.3℃」 活動参加の 2015 年が「38.4℃」 半世紀前の 1975 年は 何と「34.9℃」 今より 4℃以上低く随分驚きました。（参考元／気象庁 過去の気象データ） きっと伊勢湾流域で暮らす水辺や水中の動植物 そして水自体にも大きな影響があるかもしれないと思い、あらためてモニタリングの重要性を感じました。 私たちに出来ることはわずかですが、今後も定点モニタリングに参加し調査報告させて頂くことで 伊勢湾の再生に少しでも寄与できればと思います。また、この活動により多くの方が参加され、収集されたデータにより伊勢湾流域圏が再生され次世代に継承されることを願っております。

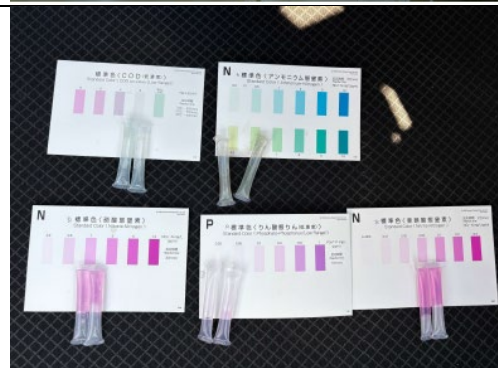
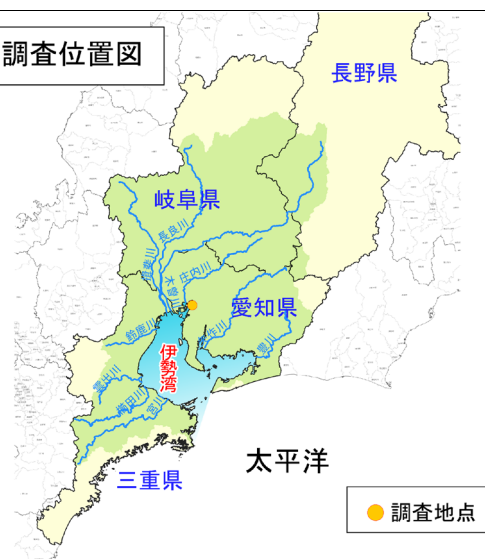
団体名：東洋建設株式会社

実施日：2025（R7）年8月1日

主な観測地点：天白川

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 今回も昨年と同様の場所でモニタリングを実施した。結果は水の色（透明度）が昨年よりも悪く、かなり濁っていることが肉眼で確認できた。調査項目のCOD以外は昨年度より高い（悪い）数値であった。

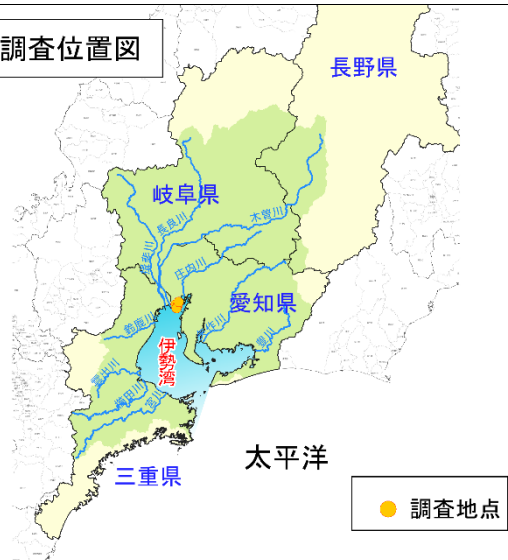
団体名：名古屋みなと建設工事安全連絡協議会

実施日：2025（R7）年7月25日

主な観測地点：名古屋港

参加人数：8人

調査位置図



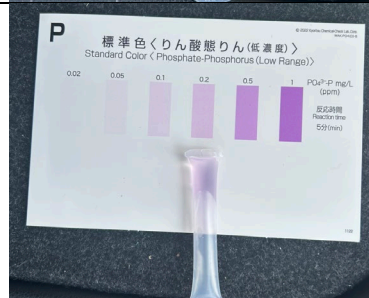
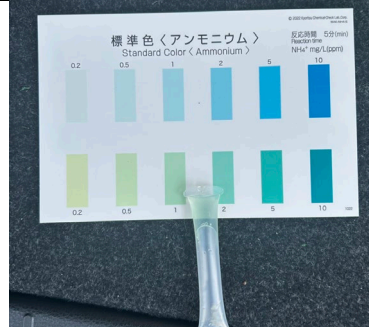
【感想やご意見等】

- ・ 普段工事で目にしていて伊勢湾ですが、改めて一斉モニタリングを行うと、濁りがあつたり生き物がいたり日常生活で今まで感じる事がなかったことを感じました。伊勢湾にいる全ての生物のために、少しでも水質改善につながる活動があれば積極的に参加したいと思います。

実施日：2025（R7）年7月28日、8月21日

主な観測地点：浜田川、柳生川、乙川、広田川、
安藤川、鞍流瀬川、砂瀬川、蜷川、
矢作古川

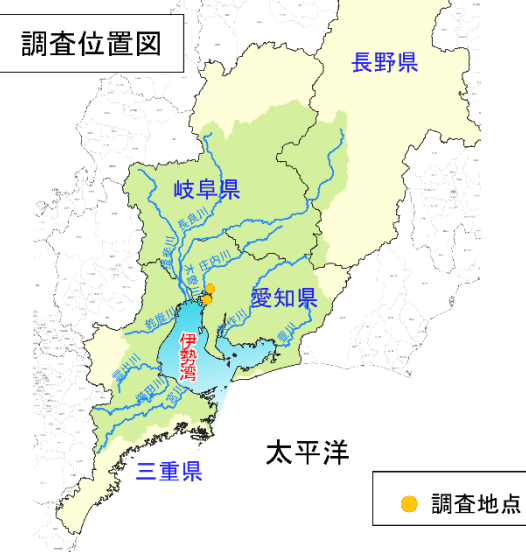
参加人数：4人（7月28日）、5人（8月21日）



【感想やご意見等】

- 今回初めて参加させていただきました。
普段何気なく見ている川の水質を、自分たちの手で調べる体験はとても新鮮でした。
採水や各数値の測定はやったことはありませんでしたが、説明書が分かりやすく、初めてでも安心して取り組むことができました。
実際に数値を調査し、数値が大きいとどのような状態の水質なのか普段の業務では知ることのない知識を学ぶことができ、水質への関心が高まりました。
伊勢湾の環境再生のために私達も加われたことをとても嬉しく思います。
また次回もぜひ参加したいと思います。

3.4 行政機関の伊勢湾流域圏一斉モニタリング

団体名：伊勢湾再生海域検討会 (東海市エコスクール)	調査位置図 
実施日：2025 (R7) 年 8 月 18 日 主な観測地点：名古屋港 参加人数：22 人	
【感想やご意見等】 ・ 採水の仕組みを変えて欲しい。 ・ 水質が良くなるとぼくたちの生活に影響するからもっと知りたい。	

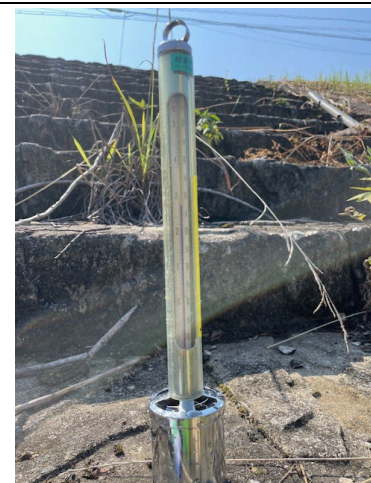
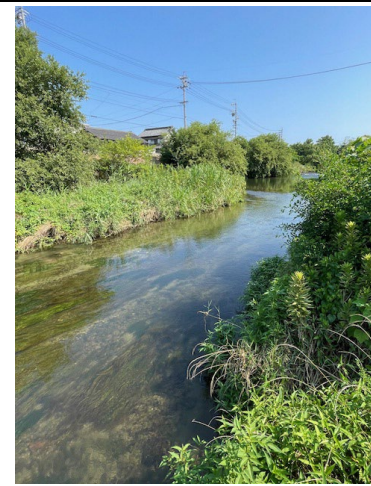
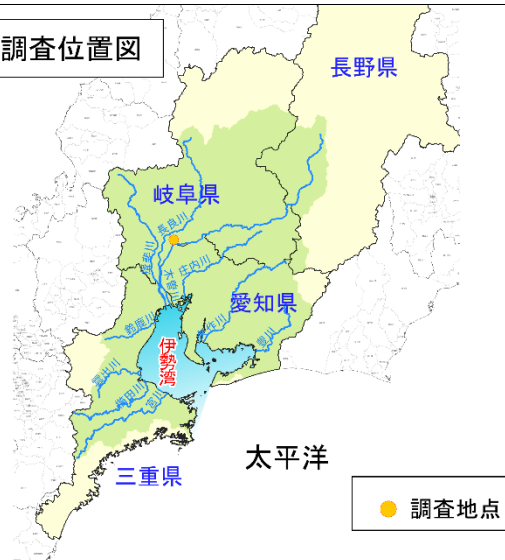
団体名：岐阜県岐南町

実施日：2025（R7）年8月1日

主な観測地点：境川

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 今年度は暑さが厳しいため、子供達の参加は見合わせました。
県の維持業務に伴う除草直後であったため、管理状況も良好でありました。
現在、調査地点上流にて河川改修が実施されておりますが、水の濁りもなく水質も良好でした。
一部、河川沿いの中・高木を伐採して頂いたため水辺状態も確認しやすく、昨年よりも良好であった。

団体名：第四管区海上保安本部	調査位置図	
実施日：2025（R7）年8月19日 主な観測地点：名古屋港 参加人数：15人		
【感想やご意見等】		
・ 本年は、一斉モニタリングの趣旨を鑑み、海上保安庁第四管区海上保安本部を訪れた高校生・大学生と共に3班に分けて実施した。 - 参加者の中には、来年度は個人で参加すると話す高校生もあり、高校生・大学生に対して海洋環境保全思想の普及に寄与できたと思料する。		

4. 伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査結果

4.1 分析による水質調査

分析による水質調査では様々な水質項目を調査していますが、伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査結果では、環境基本法に基づく生活環境項目として広く採用されており、有機汚濁、富栄養化、生物生息環境、衛生環境及び濁りの状況を総合的に把握できる、次の 8 項目を示します。分析による水質調査の集計結果を以下に示します。

表 4-1 分析による水質項目

水質項目	水質項目が示すもの
①BOD (生物化学的酸素要求量)	河川の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
②COD (化学的酸素要求量)	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
③pH	酸性・アルカリ性の程度を示します。pH7 が中性、pH が 7 より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。
④全窒素	水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑤全リン	水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑥DO (溶存酸素)	水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。
⑦SS (浮遊物質)	水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
⑧大腸菌群数	大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

BOD（生物化学的酸素要求量）

河川の有機物による水の汚れを示します。

環境省の環境基準（河川、湖沼を除く）

類型	AA	A	B	C	D	E
BOD	1mg/L 以下	2mg/L 以下	3mg/L 以下	5mg/L 以下	8mg/L 以下	10mg/L 以下



図 4-1 BOD(生物化学的酸素要求量) (分析による水質調査結果)

特に揖斐川、長良川、木曽川の本川周辺では1mg/L未満の調査結果が多くなっています。また、庄内川の河口周辺では、2mg/L以上の調査結果もみられています。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。

環境省の環境基準（海域）

類型	A	B	C
COD	2mg/L 以下	3mg/L 以下	8mg/L 以下



図 4-2 COD(化学的酸素要求量) (分析による水質調査結果)

庄内川下流では 5mg/L 以上の調査結果が多くなっています。

また、特に長良川中流周辺では 5mg/L 未満の調査結果が多くなっています。

pH

酸性・アルカリ性の程度を示します。

pH7 が中性、pH が 7 より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。

環境省の環境基準

pH	AA	A	B	C	D	E
河川	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.0 以上 8.5 以下	6.0 以上 8.5 以下
海域	—	7.8 以上 8.3 以下	7.8 以上 8.3 以下	7.0 以上 8.3 以下	—	—



図 4-3 pH(分析による水質調査結果)

河川では一般的に 7 付近の中性で、河川の観測値の多くが 7～8 未満となっています。河川の一部の地点では 8 以上のアルカリ性を示していますが、地質などの自然の特性によって高くなることがあります。一方、海の pH は一般的に 8 前後のアルカリ性を示すため、海の観測値は 8 以上となっています。

全窒素

水中の窒素の量を示します。

窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。

環境省の環境基準（海域）

類型	I	II	III	IV
全窒素	0.2mg/L 以下	0.3mg/L 以下	0.6mg/L 以下	1mg/L 以下



図 4-4 全窒素(分析による水質調査結果)

河川では一般的に上流ほど低く、下流ほど高い値となります。市街地では生活排水、下水処理水、農地排水、畜産排水が流入するため 0.4mg/L 以上のところが多くなっています。

全リン

水中のリンの量を示します。

リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。

環境省の環境基準（海域）

類型	I	II	III	IV
全リン	0.02mg/L 以下	0.03mg/L 以下	0.05mg/L 以下	0.09mg/L 以下



図 4-5 全リン(分析による水質調査結果)

河川では一般的に上流ほど低く、下流ほど高い値となります。リンは自然界での供給量が比較的小さいため、下水処理場、市街地排水、畜産排水の影響を受けやすく、市街地では0.05mg/L以上のところが多くなっています。

DO（溶存酸素）

水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。

溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。

環境省の環境基準

DO	AA	A	B	C	D	E
河川	7.5mg/L 以上	7.5mg/L 以上	5mg/L 以上	5mg/L 以上	2mg/L 以上	2mg/L 以上
海域	—	7.5mg/L 以上	5mg/L 以上	2mg/L 以上	—	—

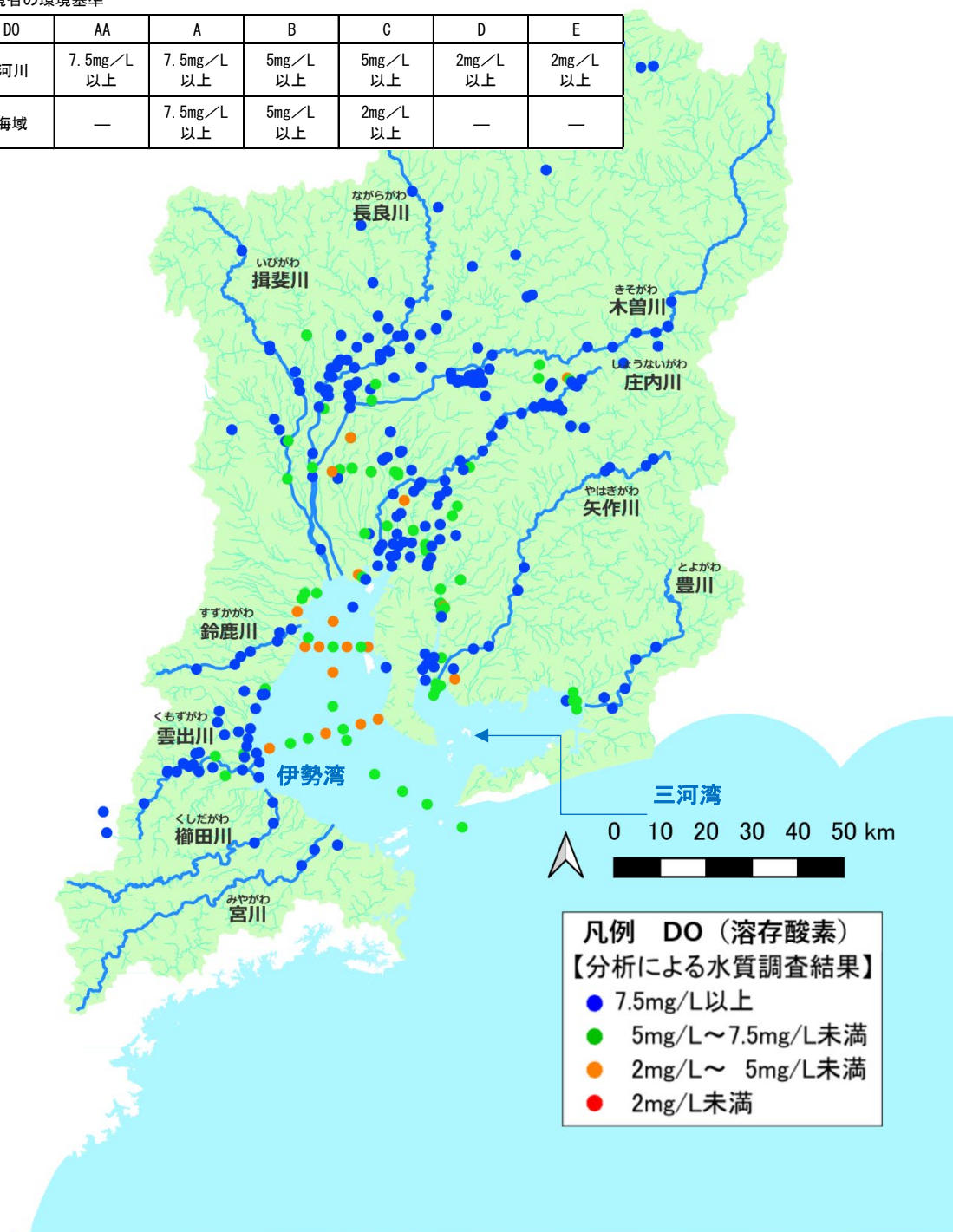


図 4-6 DO（溶存酸素）（分析による水質調査結果）

河川で 7.5mg/L 以上のところが多くなっており、良好な水環境が維持されています。

海域は海面付近の値を示していますが、海域の DO は河川と比較して低く、一部地点では 5mg/L を下回る値が確認されています。これは海域特有の水温成層や海水の混合の違いによる影響と考えられ、地点によっては生物の生息環境に配慮が必要な状況がみられます。

SS（浮遊物質）

水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。

環境省の環境基準（河川）

類型	AA	A	B	C	D	E
利用目的の適応性	水道1級 自然環境 保全 及びA以下 の欄に掲げるもの	水道2級 水産1級 水浴 及びB以下 の欄に掲げるもの	水道3級 水産2級 及びC以下 の欄に掲げるもの	水道3級 工業用水 1級 及びD以下 の欄に掲げるもの	工業用水 2級 農業用水 及びEの欄 に掲げるもの	工業用水 3級 環境保全
浮遊物質 (SS)	25mg/L 以下	25mg/L 以下	25mg/L 以下	50mg/L 以下	100mg/L 以下	ごみ等の 浮遊が認め られないこと。



図 4-7 SS(浮遊物質) (分析による水質調査結果)

多くの観測地点は、25mg/L 未満となっており、河川の環境基準 A、B 類型に適合する水質であるため、水の濁りは少ないといえます。

大腸菌群数

大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。
水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

環境省の環境基準

大腸菌群数	AA	A	B	C	D	E
河川	50MPN/ 100mL 以下	1,000MPN/ 100mL 以下	5,000MPN/ 100mL以下	—	—	—
海域	—	1,000MPN /100mL以下	—	—	—	—



図 4-8 大腸菌群数(分析による水質調査結果)
1000MPN/100mL 未満の値となっている地点が多くみられます。

4.2 簡易水質テスト結果

簡易水質テストの参加者の方々には、以下のモニタリング項目について調査していただきました。

＜伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査項目＞

水温、COD（化学的酸素要求量）、 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ （アンモニウム態窒素）、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ （亜硝酸態窒素）、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ （硝酸態窒素）、 $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ （リン酸態リン）、天気、水のきれいさ（色、にごり、におい）、水の量（量、速さ）、ごみの状況（場所、量）、生き物の状況（種類、量）、植物の状況（場所、量、種類）

モニタリング調査項目の内、調査地点数が多く、伊勢湾流域圏の水質の汚染状況を示す COD（化学的酸素要求量）、 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ （アンモニウム態窒素）、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ （亜硝酸態窒素）、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ （硝酸態窒素）、 $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ （リン酸態リン）の結果を図 4-9～図 4-13 に示しました。

また、見た目の水のきれいさと水のにごりを 5 段階で示していただいた結果を図 4-14 と図 4-15 に示しました。

表 4-2 簡易水質テストの水質項目

水質項目	水質項目が示すもの
①COD (化学的酸素要求量)	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② $\text{NH}_4^+\text{-N}$ (アンモニウム態窒素)	窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの発生原因となります。 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり、濃度が高い場合、生活排水や工場排水、あるいは田畑から肥料分が流れて出ていると考えられます。
③ $\text{NO}_2^-\text{-N}$ (亜硝酸態窒素)	$\text{NO}_2^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり生物の栄養素となります。不安定な物質ですが、pH 等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなることがあります。
④ $\text{NO}_3^-\text{-N}$ (硝酸態窒素)	$\text{NO}_3^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり生物の栄養素となります。きれいな水は $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の割合が高くなります。ただし、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ と $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の合計が 10mg/L 以下に設定されています。
⑤ $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ (リン酸態リン)	$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ は、リンの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸などにより供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれます。海水や湖沼水中に $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ が増加すると、赤潮などの発生原因となります。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。

人口が密集する市街地を流れる庄内川では、**5mg/L** 以上の高い値が観測されています。一般的には生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

環境省の環境基準（海域）

類型	A	B	C
COD	2mg/L 以下	3mg/L 以下	8mg/L 以下



図 4-9 COD(化学的酸素要求量) (簡易水質テスト結果)

NH₄⁺-N（アンモニウム態窒素）

窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。NH₄⁺-Nは、窒素の主な形態の一つです。濃度が高い場合、生活排水や工場排水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。

伊勢湾流域圏全体で0.2mg/L~0.5mg/Lのところが多くなっています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、NH₄⁺-N（アンモニウム態窒素）が高くなっていると考えられます。伊勢湾流域圏全体として0.5mg/L未満の割合は8割程度であり、比較的良好であるといえます。



図 4-10 NH₄⁺-N（アンモニウム態窒素）（簡易水質テスト結果）

NO₂⁻-N（亜硝酸態窒素）

NO₂⁻-Nは、窒素の主な形態の一つであり生物にとっての栄養素となります。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなることがあります。

伊勢湾流域圏全体で、0.007mg/L以上のところが多くなっています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、NO₂⁻-N（亜硝酸態窒素）濃度が高くなっていると考えられます。

伊勢湾流域圏全体として 0.007mg/L 未満の比較的良好な水質が占める割合は、3～4 割程度となっています。



図 4-11 NO₂⁻-N(亜硝酸態窒素)（簡易水質テスト結果）

NO₃⁻-N（硝酸態窒素）

NO₃⁻-N は、窒素の主な形態の一つであり生物にとっての栄養素となります。きれいな水は NO₃⁻-N の割合が高くなります。ただし、NO₃⁻-N が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、NO₂⁻-N と NO₃⁻-N の合計が 10mg/L 以下と設定されています。

窒素のうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。

一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、NO₃⁻-N（硝酸態窒素）濃度が高くなっていると考えられます。伊勢湾流域圏全体として 1.2mg/L 未満の比較的良好な水質の占める割合は、8 割程度となっています。



図 4-12 NO₃⁻-N（硝酸態窒素）（簡易水質テスト結果）

PO₄³⁻-P（リン酸態リン）

PO₄³⁻-P は、リンの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中に PO₄³⁻-P が増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。

リンのうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。

一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、PO₄³⁻-P（リン酸態リン）濃度が高くなっていると考えられます。伊勢湾流域圏全体として 0.11mg/L 未満の比較的良好な水質の占める割合は、7 割程度となっています。



図 4-13 PO₄³⁻-P（リン酸態リン）（簡易水質テスト結果）

見た目の水のきれいさ

伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査を実施したときの水のきれいさについて、5段階（悪い）1・2・3・4・5（良い）で評価しています。

伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。

一部の観測地点において、1、2の比較的悪い評価が見られますが、概ね3以上の水のきれいさとなっています。人口が密集する市街地を流れる庄内川や三河湾、伊勢湾の海域周辺でも4～5の評価など見た目のきれいさの評価がみられます。



図 4-14 見た目の水のきれいさ

見た目の水のにごり

伊勢湾流域圏一斉モニタリング調査を実施したときの水のにごりについて、5段階（（良い）1 澄んでいる・2 中間・3 少し濁っている・4 中間・5 とても濁っている（悪い））で評価しています。
調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。

人口が密集する市街地を流れる庄内川の一部でも、2以下の比較的水がにごっていないという評価がされています。河口付近では3や水が濁っている5の地点が見られます。



図 4-15 見た目の水のにごり

4.3 簡易水質テストにおけるアンケート結果の経年変化

簡易水質テストの他に、参加していただいた団体に、調査地点に関するアンケートに回答していただいております。アンケートの項目は、下記のとおりです。

2009（H21）年度から行われているアンケート結果の経年的な変化を次頁以降に整理しました。

- 水のきれいさ：濁り
- 水量
- ごみ状況：水面、周辺
- 生物
- 植物：周辺、水際

(1) 水のきれいさ（濁り）

水のきれいさ（濁り）について、2025（R7）年度は、2024（R6）年度と比較してみると、澄んでいる割合（1 青色と 2：水色の合計）に大きな変化はありませんでした。

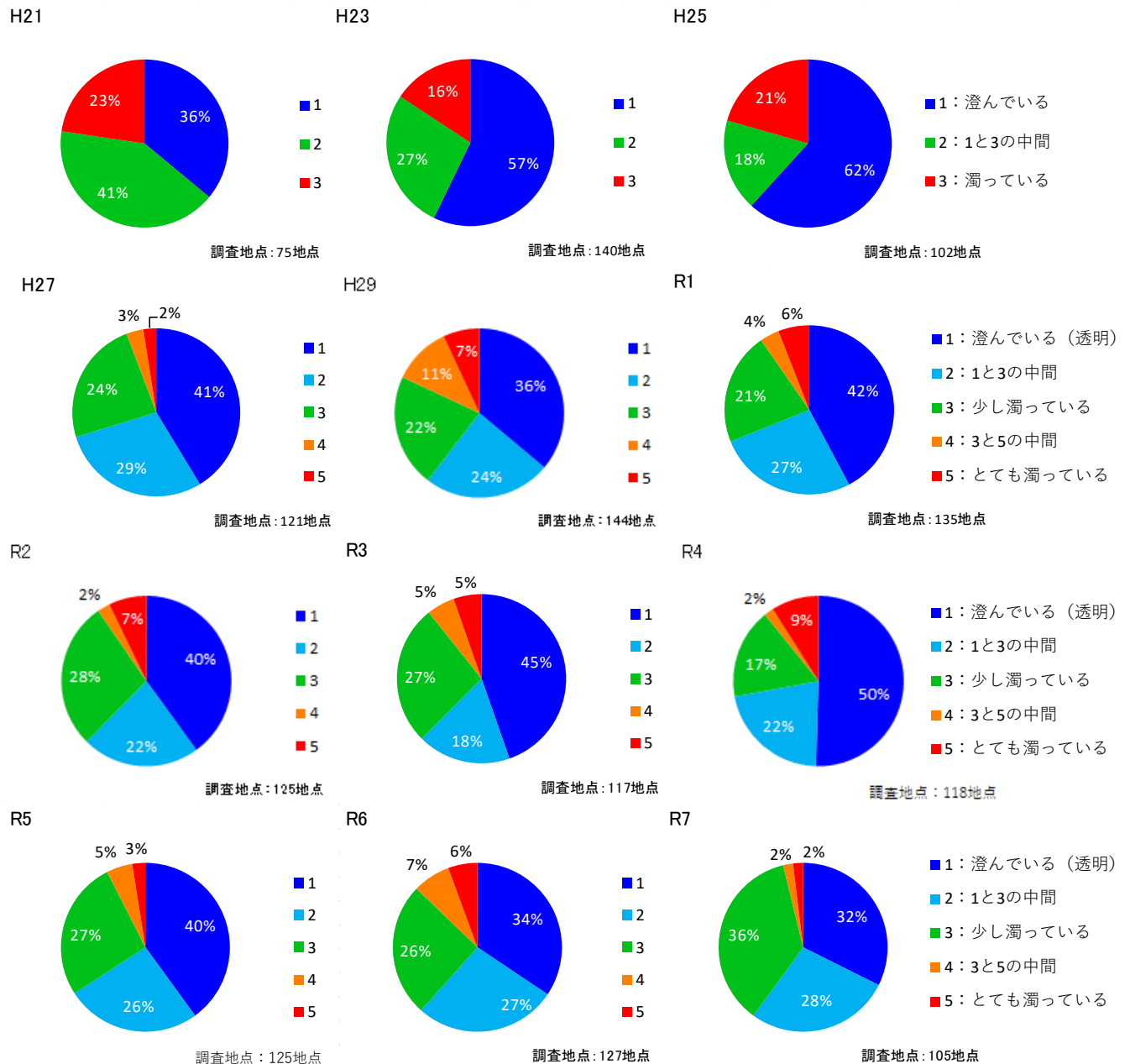


図 4-16 簡易水質テストにおけるアンケートによる「水のきれいさ」の経年調査結果

※2009 (H21)～2014 (H26) は 3 段階評価、2015 (H27) 以降は 5 段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100% となっていない場合があります。

(2) 水量

水量について、2025（R7）年度は、2024（R6）年度と比較してみると、水量の多い割合（1 青色、2 水色の合計）が少し減少しました。

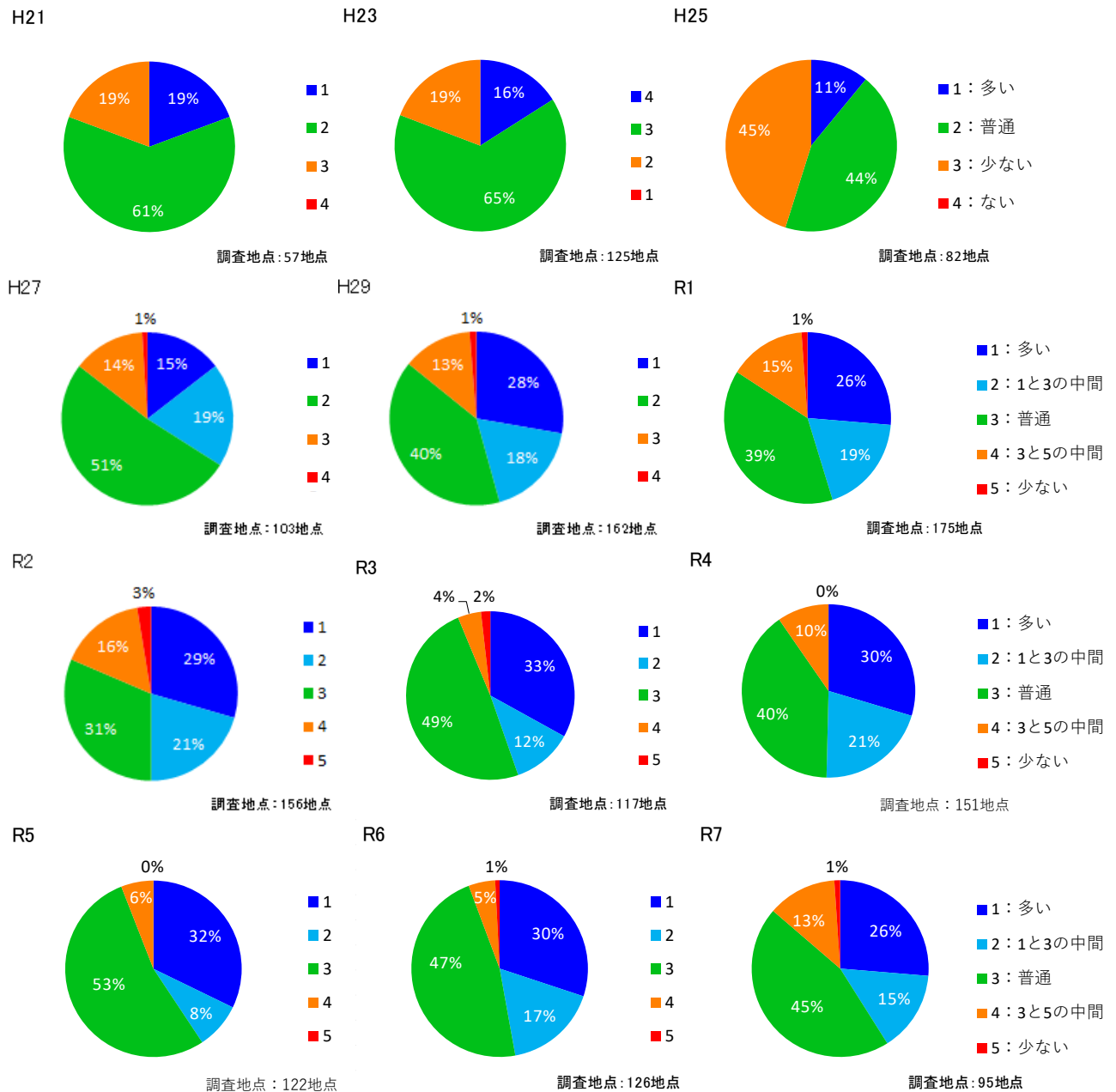


図 4-17 簡易水質テストにおけるアンケートによる「水量」の経年調査結果

※2009 (H21)～2014 (H26) は 3 段階評価、2015 (H27) 以降は 5 段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(3) ごみ状況（水面）

ごみ状況（水面）について、2025（R7）年度は、2024（R6）年度と比較してみると、ごみがない状況（1 青色）の割合が少し増加しました。

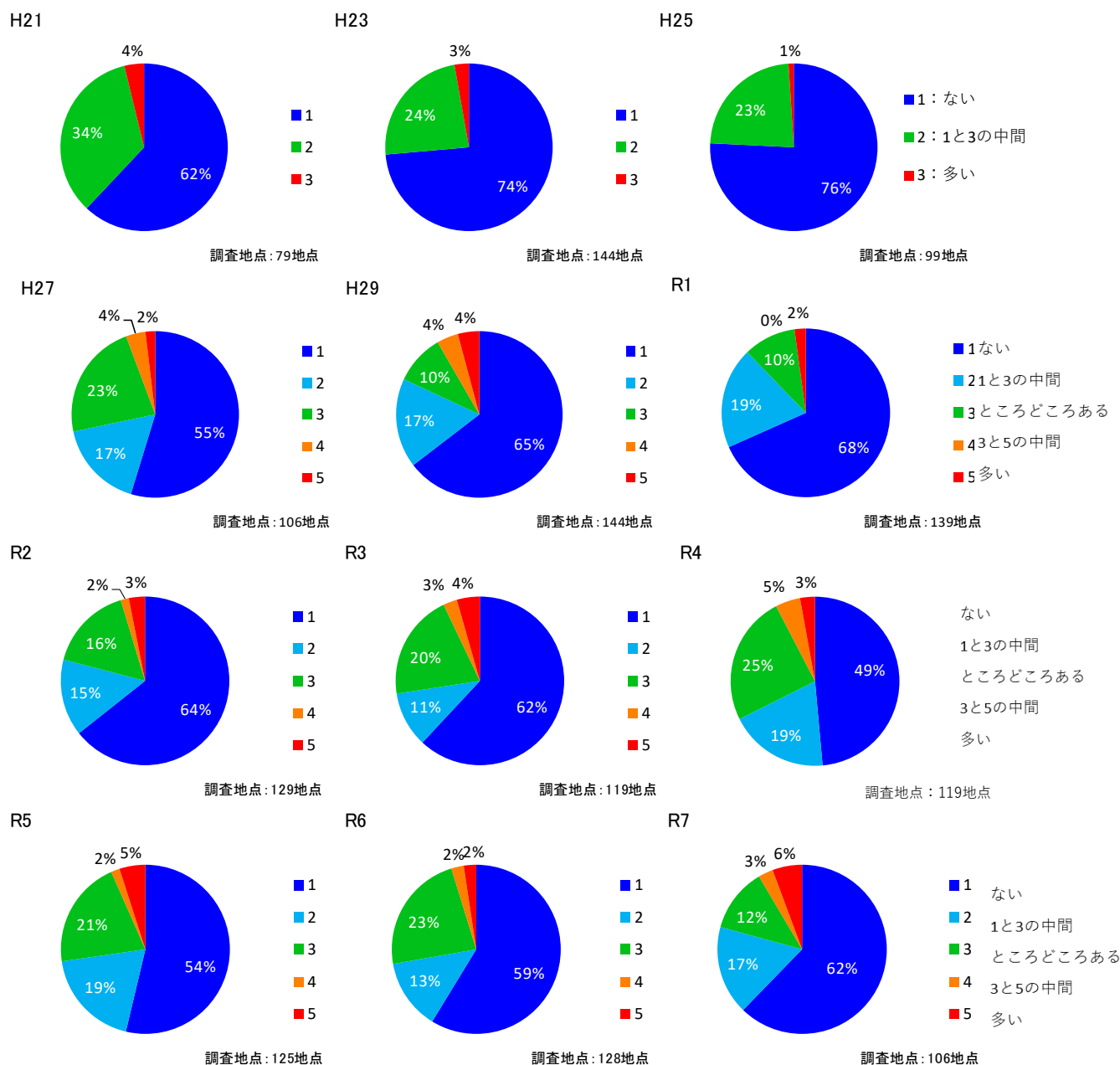


図 4-18 簡易水質テストにおけるアンケートによる「ごみ状況（水面）」の経年調査結果

※2009 (H21)～2014 (H26) は 3 段階評価、2015 (H27) 以降は 5 段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(4) ごみ状況（周辺）

ごみ状況（周辺）について、2025（R7）年度は、2024（R6）年度と比較してみると、ごみがない状況（1 青色）の割合が少し増加しました。

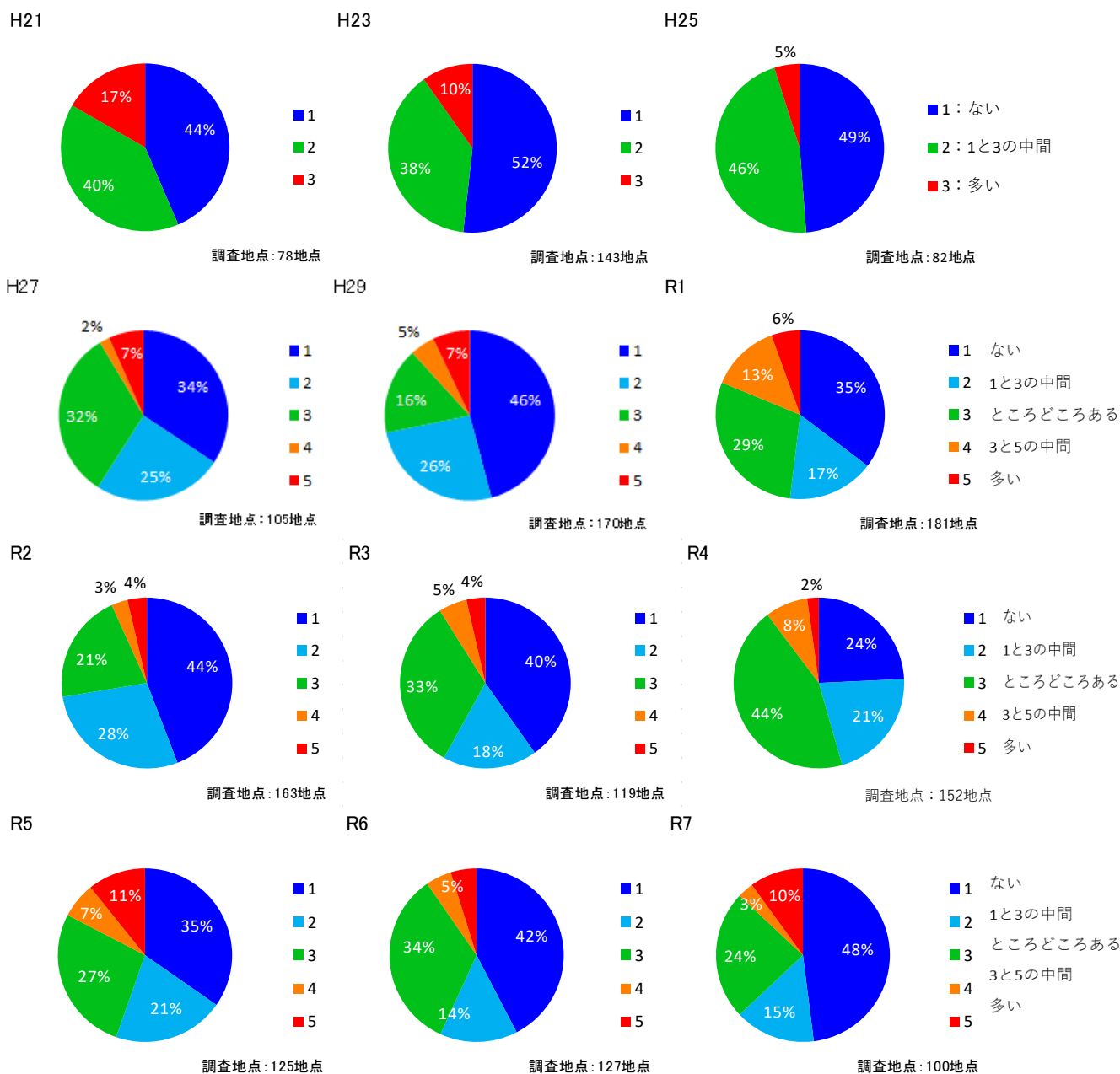


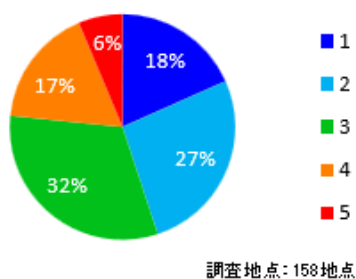
図 4-19 簡易水質テストにおけるアンケートによる「ごみ状況（周辺）」経年調査結果

※2009 (H21)～2014 (H26) は 3 段階評価、2015 (H27) 以降は 5 段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100% となっていない場合があります。

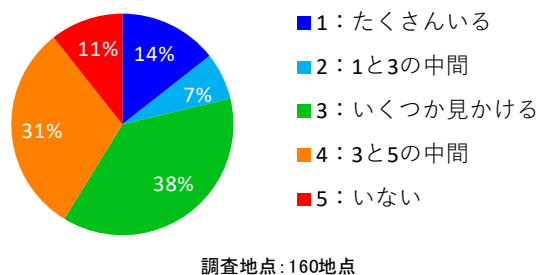
(5) 生物

生物について、2025（R7）年度を、2024（R6）年度と比較してみると、生物がたくさんいる（1 青色）と 1 と 2 の中間（2 水色）の合計の割合に大きな変化はありませんでした。

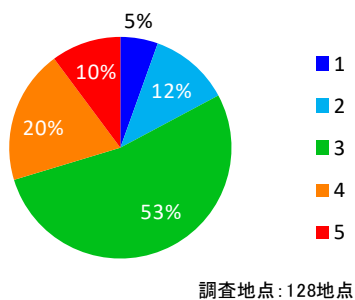
H29



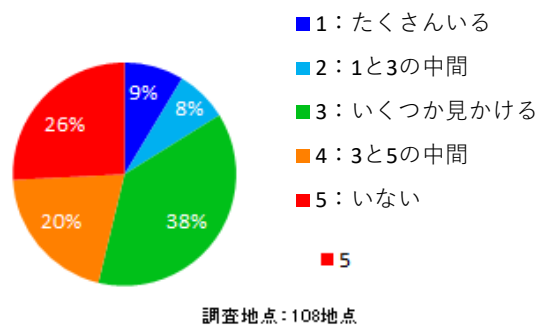
R1



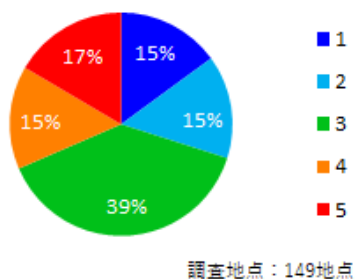
R2



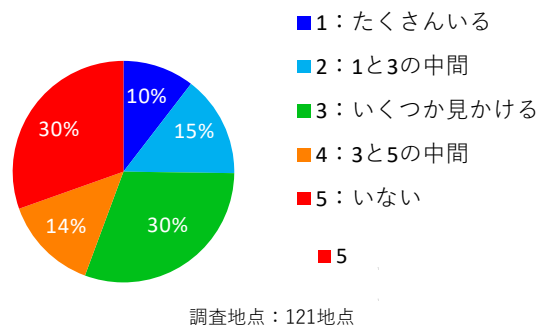
R3



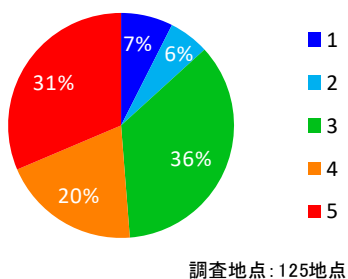
R4



R5



R6



R7

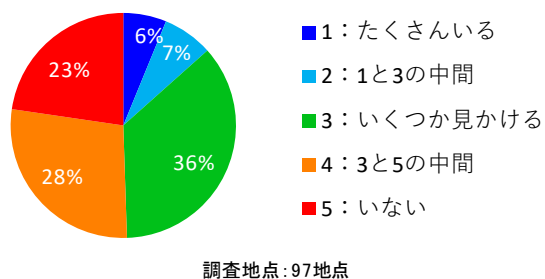


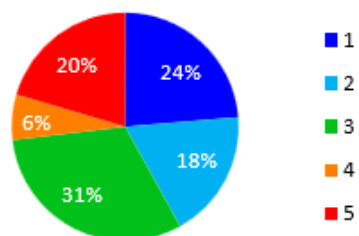
図 4-20 簡易水質テストにおけるアンケートによる「生物」の経年調査結果

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(6) 植物（周辺）

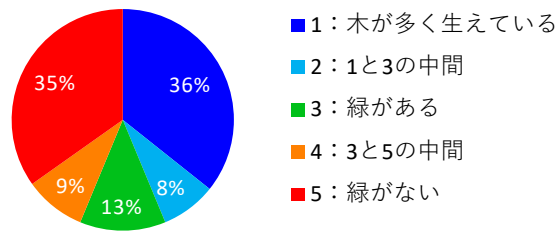
植物（周辺）について、2025（R7）年度は、2024（R6）年度と比較してみると、木が多く生えている（1 青色）と 1 と 3 の中間（2 水色）の合計の割合が減少しました。

H30



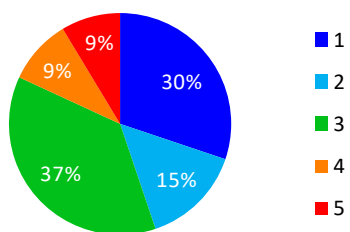
調査地点：93地点

R1



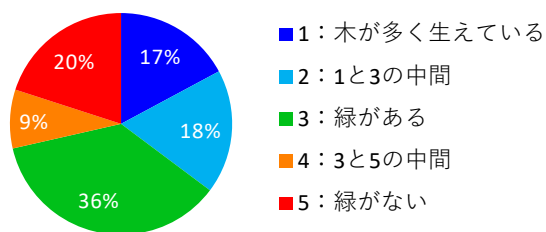
調査地点：112地点

R2



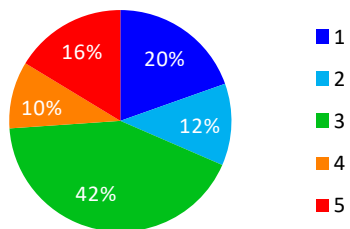
調査地点：116地点

R3



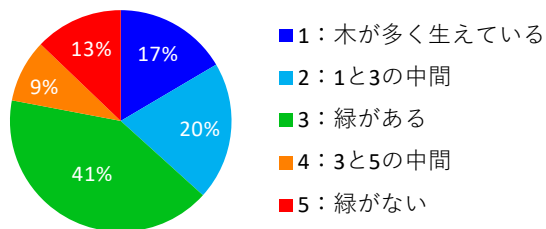
調査地点：111地点

R4



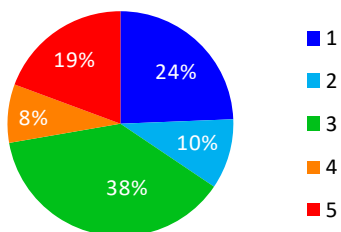
調査地点：113地点

R5



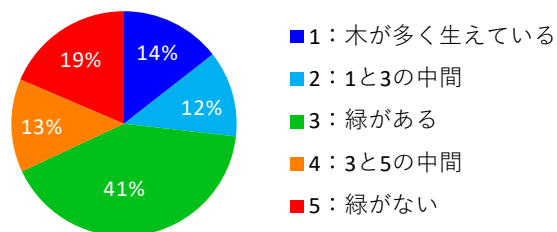
調査地点：120地点

R6



調査地点：121地点

R7



調査地点：97地点

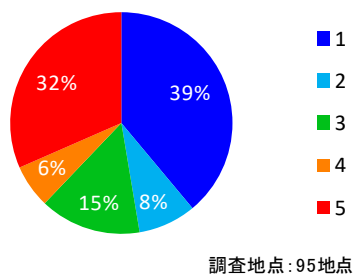
図 4-21 簡易水質テストにおけるアンケートによる「植物(周辺)」の経年調査結果

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

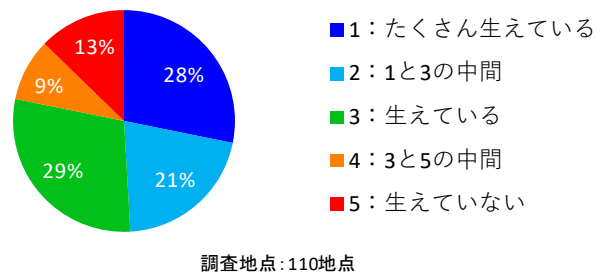
(7) 植物（水際）

植物（水際）について、2025（R7）年度は、2024（R6）年度と比較してみると、植物（水際）がたくさん生えている（1 青色）、1 と 3 の中間（2 水色）、生えている（3 緑色）を合計した割合が減少しました。

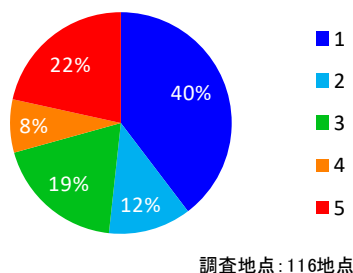
H30



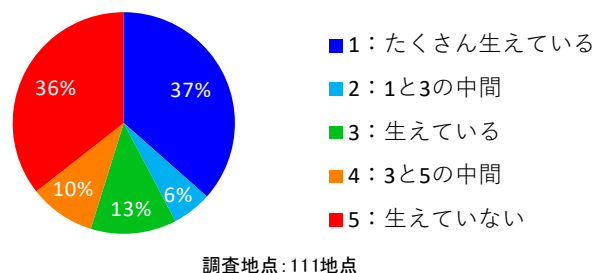
R1



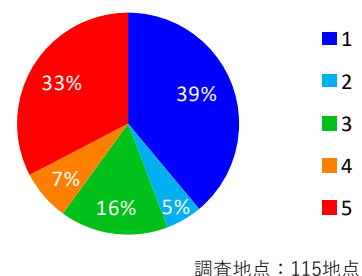
R2



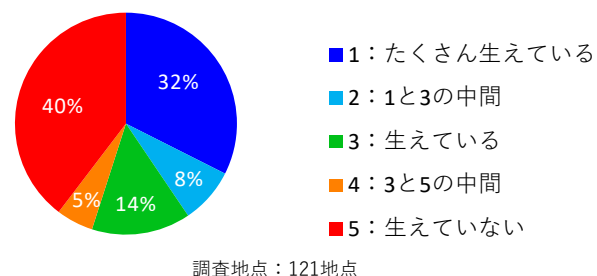
R3



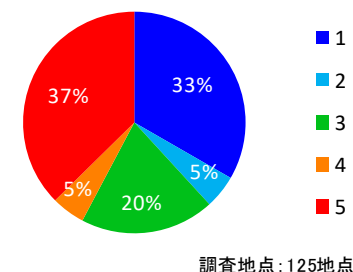
R4



R5



R6



R7

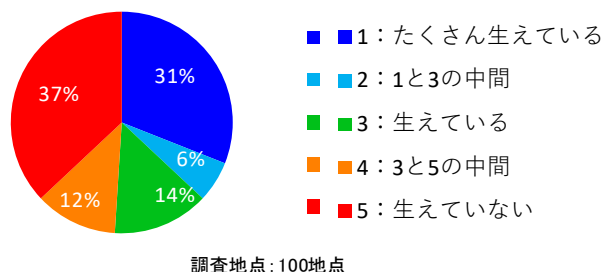


図 4-22 簡易水質テストにおけるアンケートによる「植物(水際)」の経年調査結果

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(8) 水の色

① 陸域の水の色

陸域の水の色について、2025（R7）年度を2024（R6）年度と比較してみると、無色（1 青色）と1と3の中間（2 水色）の合計の割合は大きな変化はありませんでした。

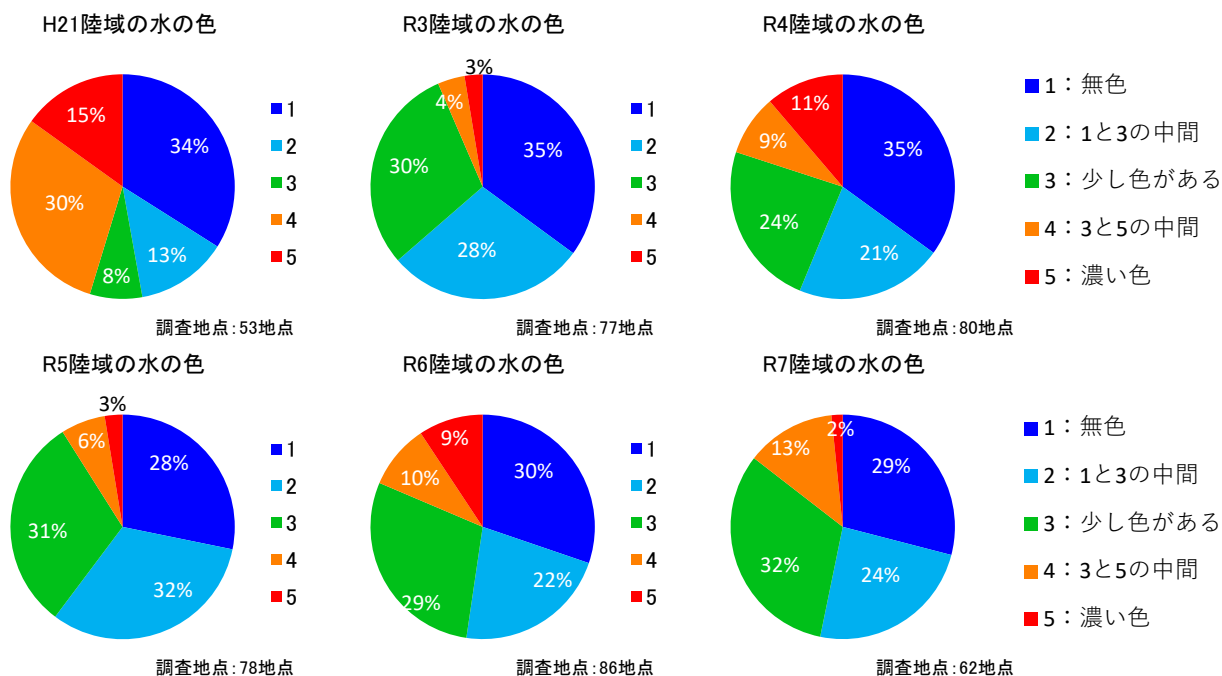


図 4-23 簡易水質テストにおけるアンケートによる「陸域の水の色」の経年調査結果

② 海域の水の色

海域の水の色について、2025（R7）年度を2024（R6）年度と比較してみると、無色（1 青色）と1と3の中間（2 水色）の合計の割合は減少しました。

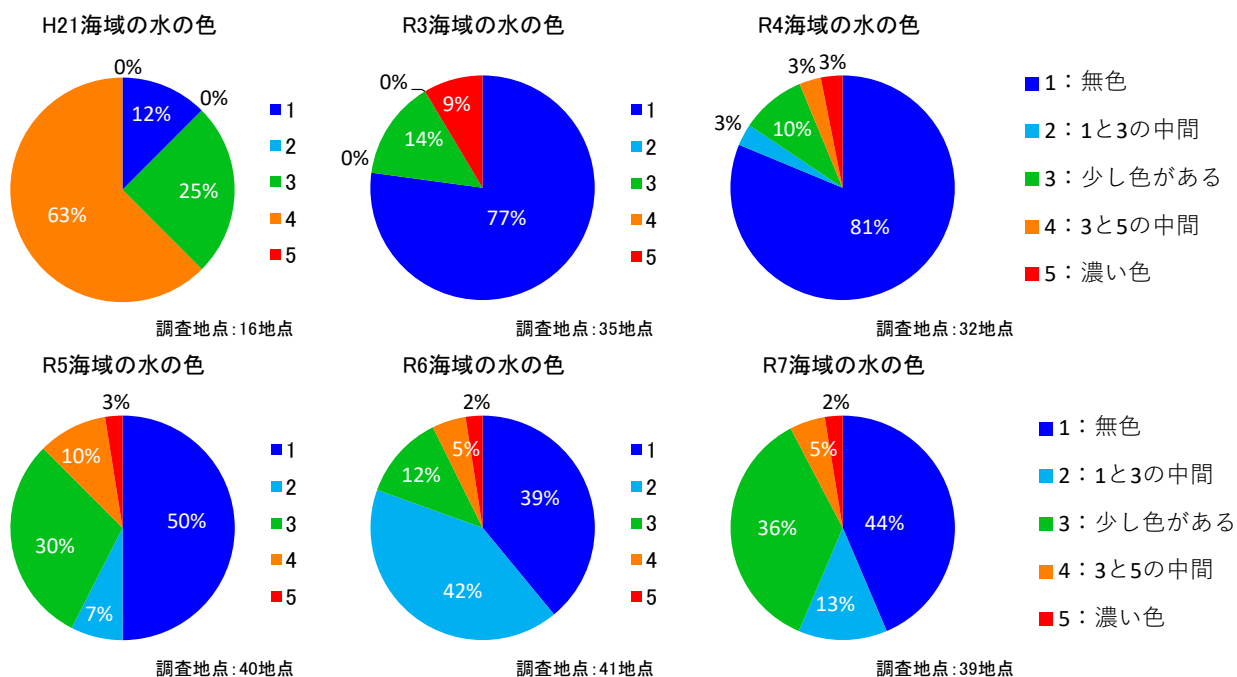


図 4-24 簡易水質テストにおけるアンケートによる「海域の水の色」の経年調査結果

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

③ 流域全体（陸域と海域）の水の色

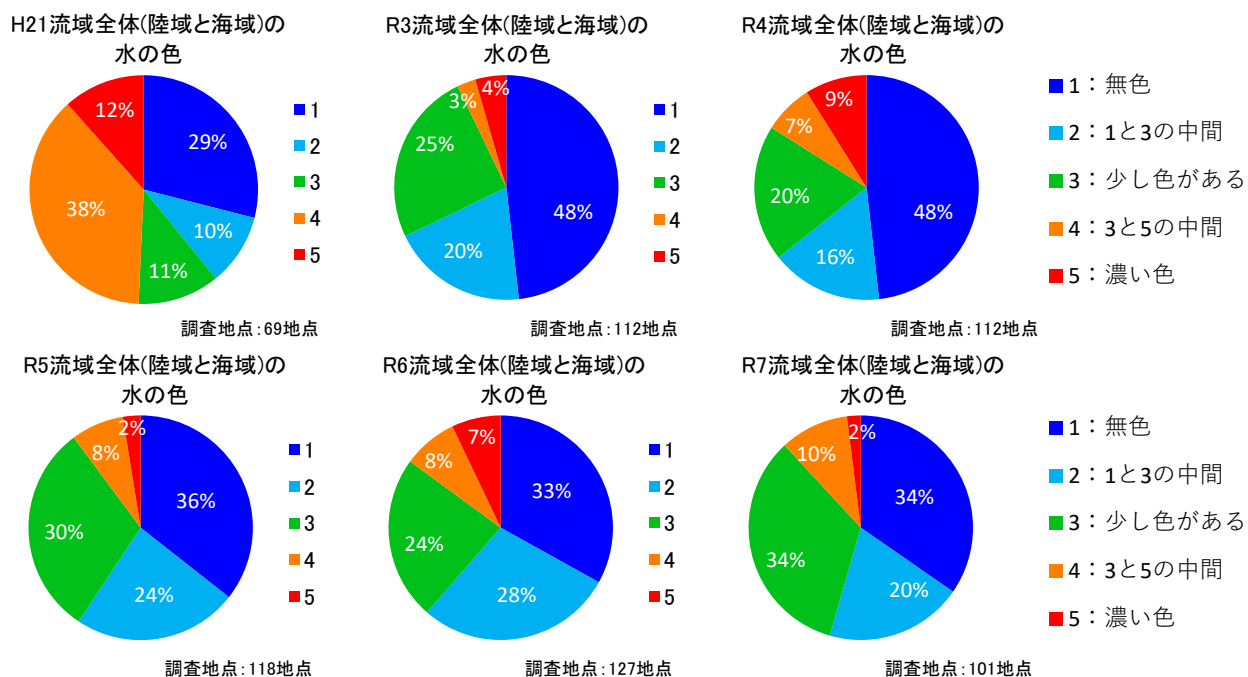


図 4-25 簡易水質テストにおけるアンケートによる流域全体(陸域と海域)の「水の色」の経年調査結果

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(9) 水際のごみ

① 陸域の水際のごみ

海域の水際のごみについて、2025（R7）年度を2024（R6）年度と比較してみると、陸域で水際のごみがないの回答（1 青色）の割合が増加しました。

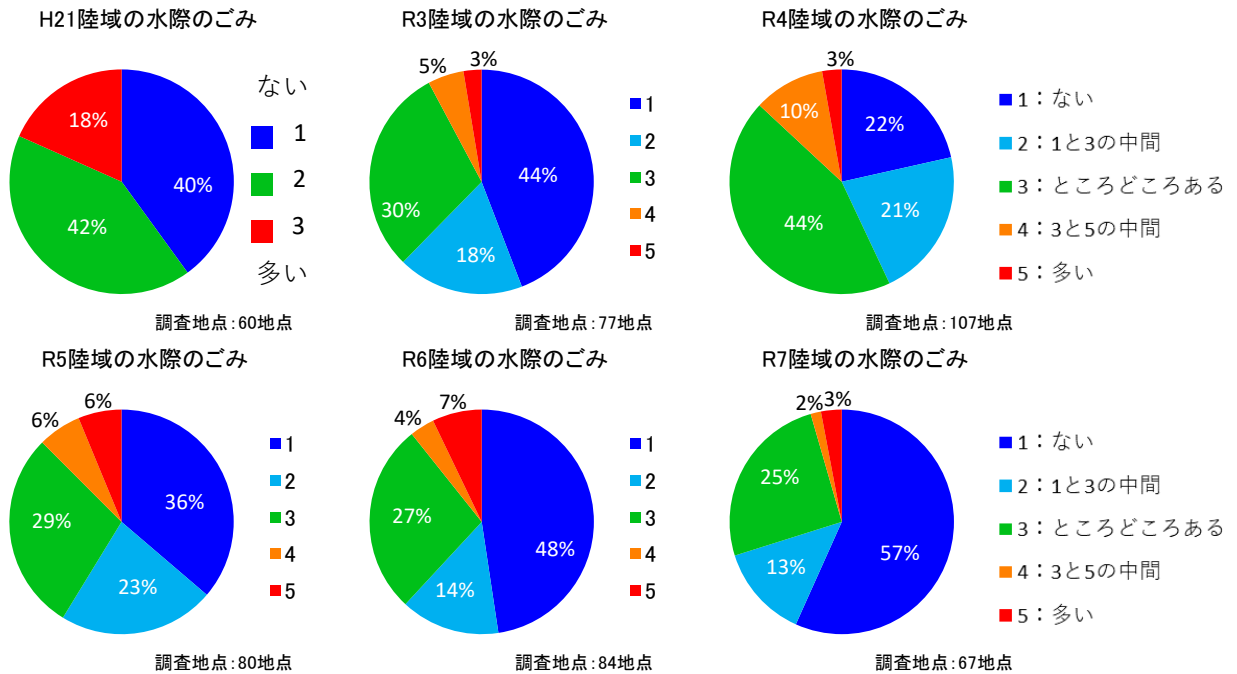


図 4-26 簡易水質テストにおけるアンケートによる「陸域の水際のごみ」の経年調査結果

※H21 は3段階評価

② 海域の水際のごみ

海域の水際のごみについて、2025（R7）年度は、2024（R6）年度と比較して、水際のごみがないの回答（1 青色）の割合に変化はありませんでした。

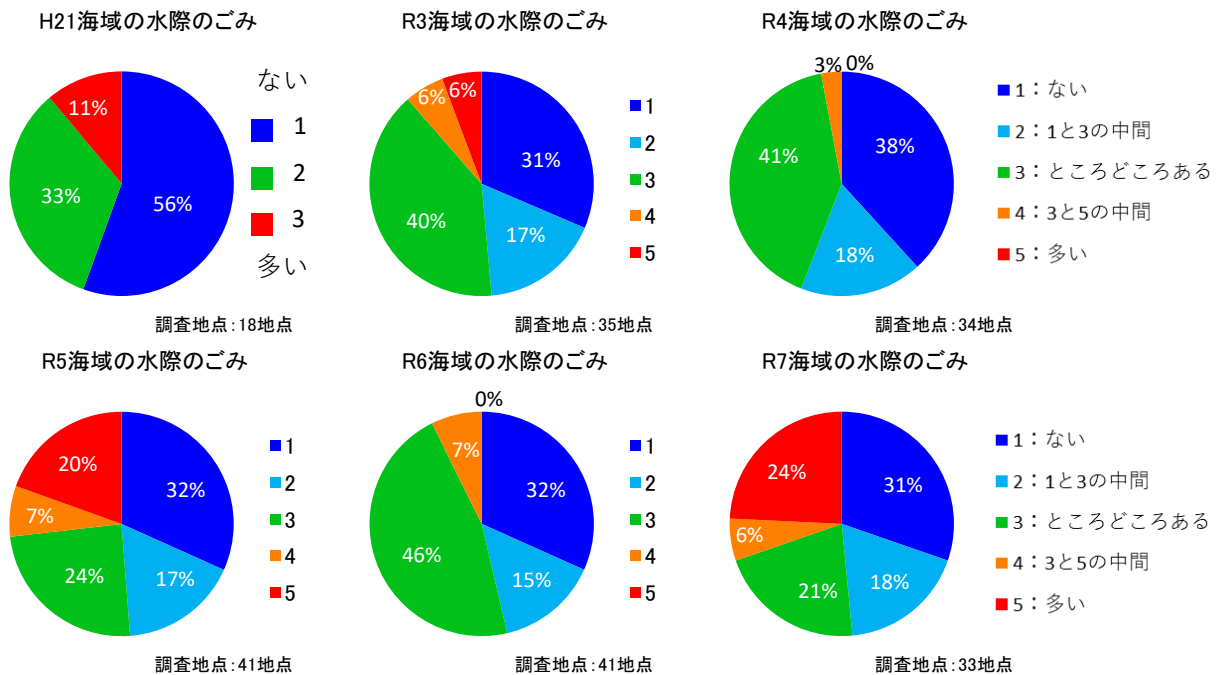


図 4-27 簡易水質テストにおけるアンケートによる「海域の水際のごみ」の経年調査結果

※2009 (H21) は3段階評価

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

③ 流域全体（陸域と海域）の水際のごみ

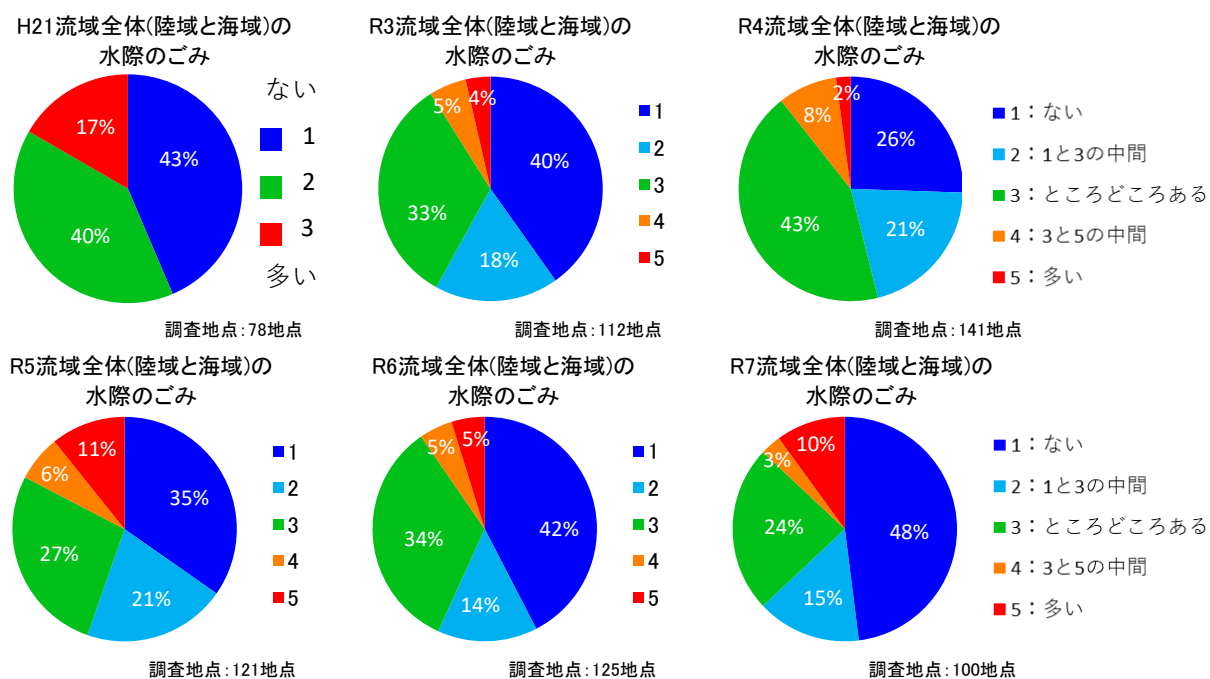


図 4-28 簡易水質テストにおけるアンケートによる流域全体（陸域と海域）の「水際のごみ」の経年調査結果

※2009(H21)は3段階評価

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(10) 2021 (R3) 年度～2025 (R7) 年度の見た目の水のきれいさと COD の関係

見た目の水のきれいさが良い（４、５）地点になるほど COD の低い地点が多い傾向が見られます。このため、見た目の水のきれいさと COD の値には相関があると考えられます。

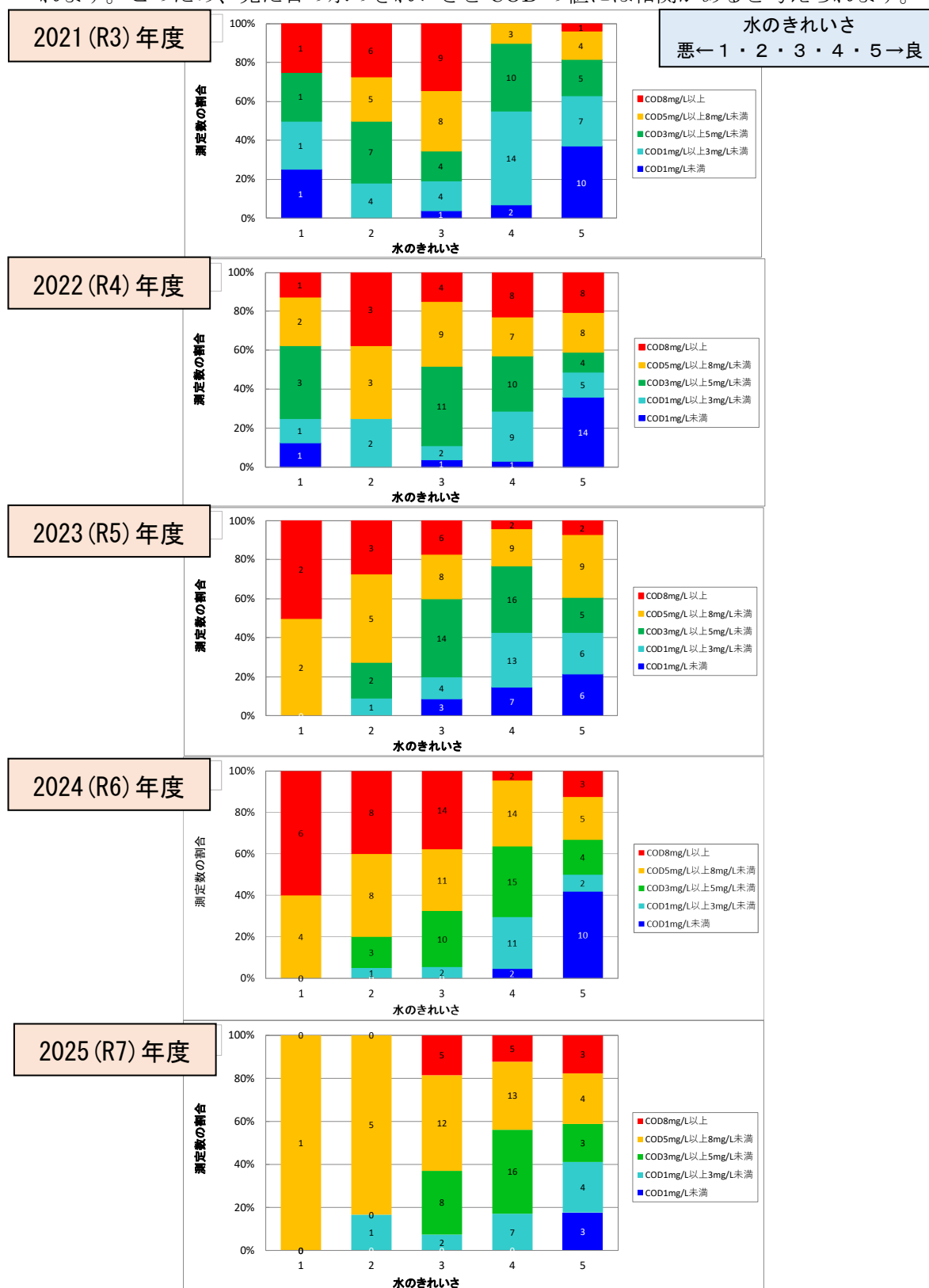


図 4-29 簡易水質テストにおけるアンケートによる水のきれいさと COD (化学的酸素要求量) の関係

5. 参考資料 1 伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間気象・海象状況

伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間（2025（R7）年7月1日～8月31日）について図 5-1 に示す観測所の気象・海象状況を図 5-4、図 5-5 に示します。

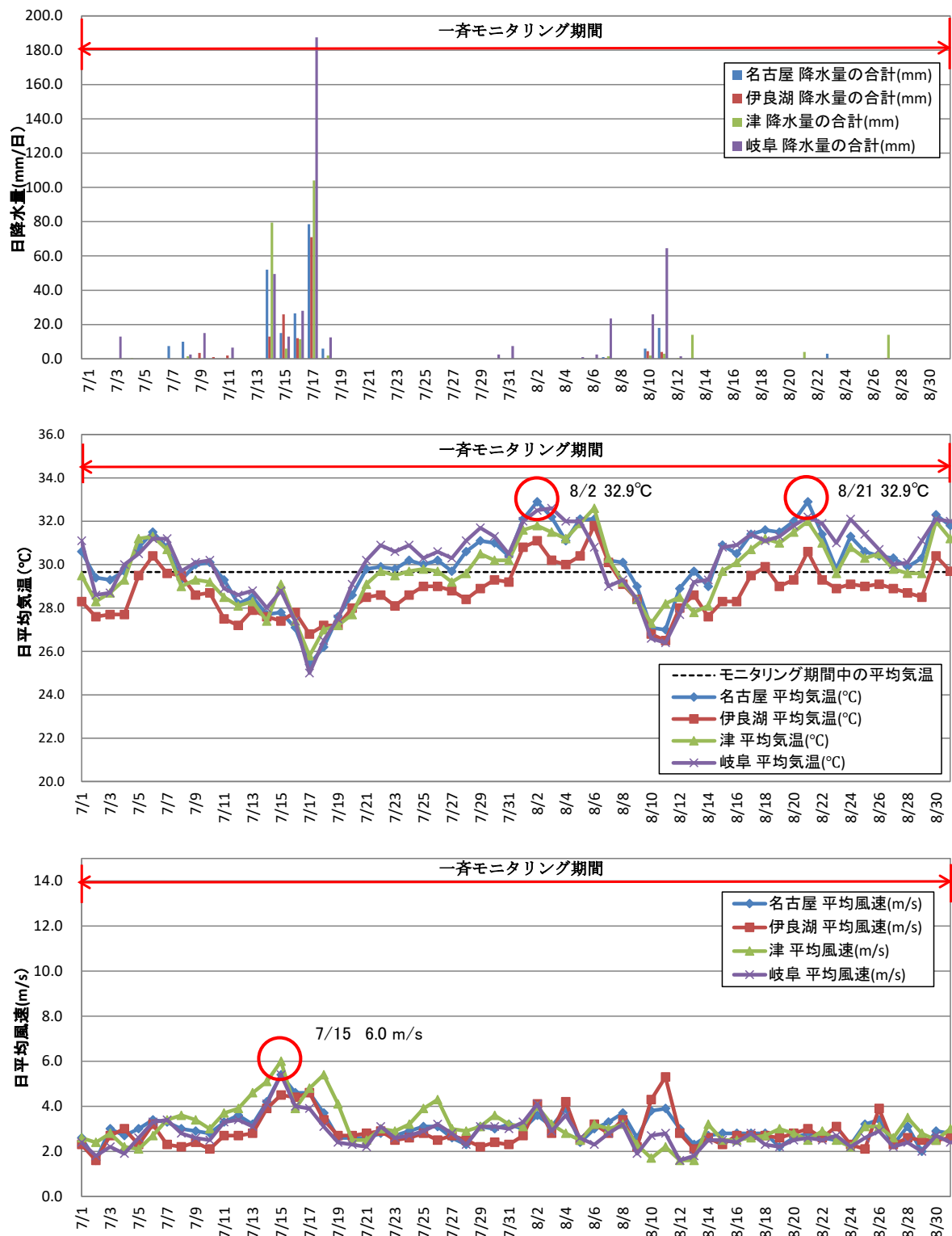
伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間中、7月中旬に局所的な大雨を記録しています。

伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間中の平均気温は 29.7℃で、最高気温は、8月2日、8月21日に名古屋で観測された 32.9℃でした。

日平均風速は、8月の変動が大きくなっています。最大の平均風速は、7月15日に津で観測された 6.0m/s でした。



図 5-1 気象・海象観測位置（赤色の地点と地名は気象観測位置、緑色の地点と地名は潮位観測位置）



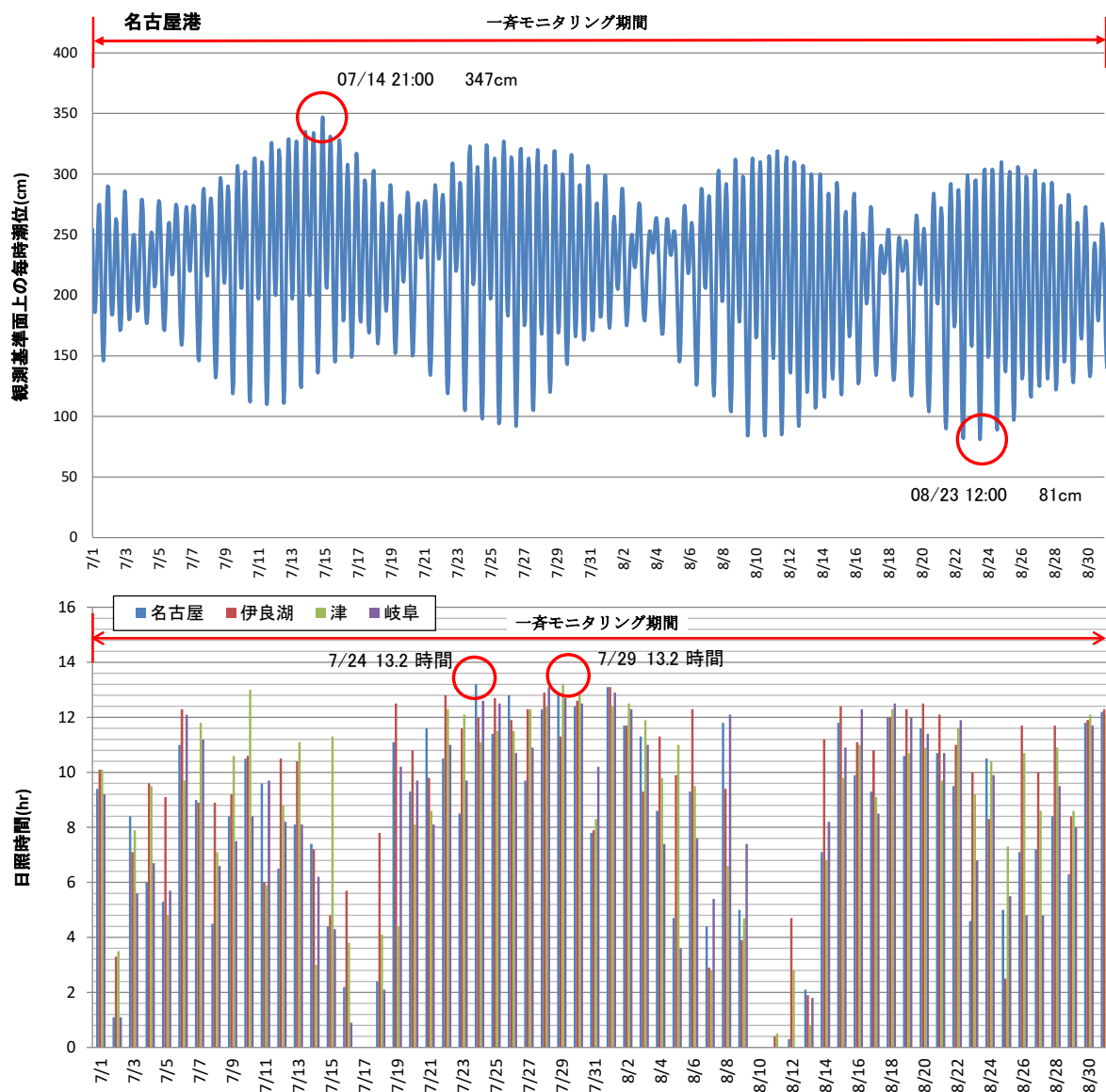
気象庁のデータから作成

図 5-2 2025 (R7) 年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間の気象・海象状況①

(降水量・気温・風速)

名古屋港の観測潮位について、7月～8月の最低潮位は8月23日12時に81cm、最高潮位は、7月14日21時に347cmとなっています。

日照時間の平均は8.6時間程度でした。日照時間の最長は、7月24日、7月29日の名古屋と津で13.2時間でした。



気象庁のデータから作成

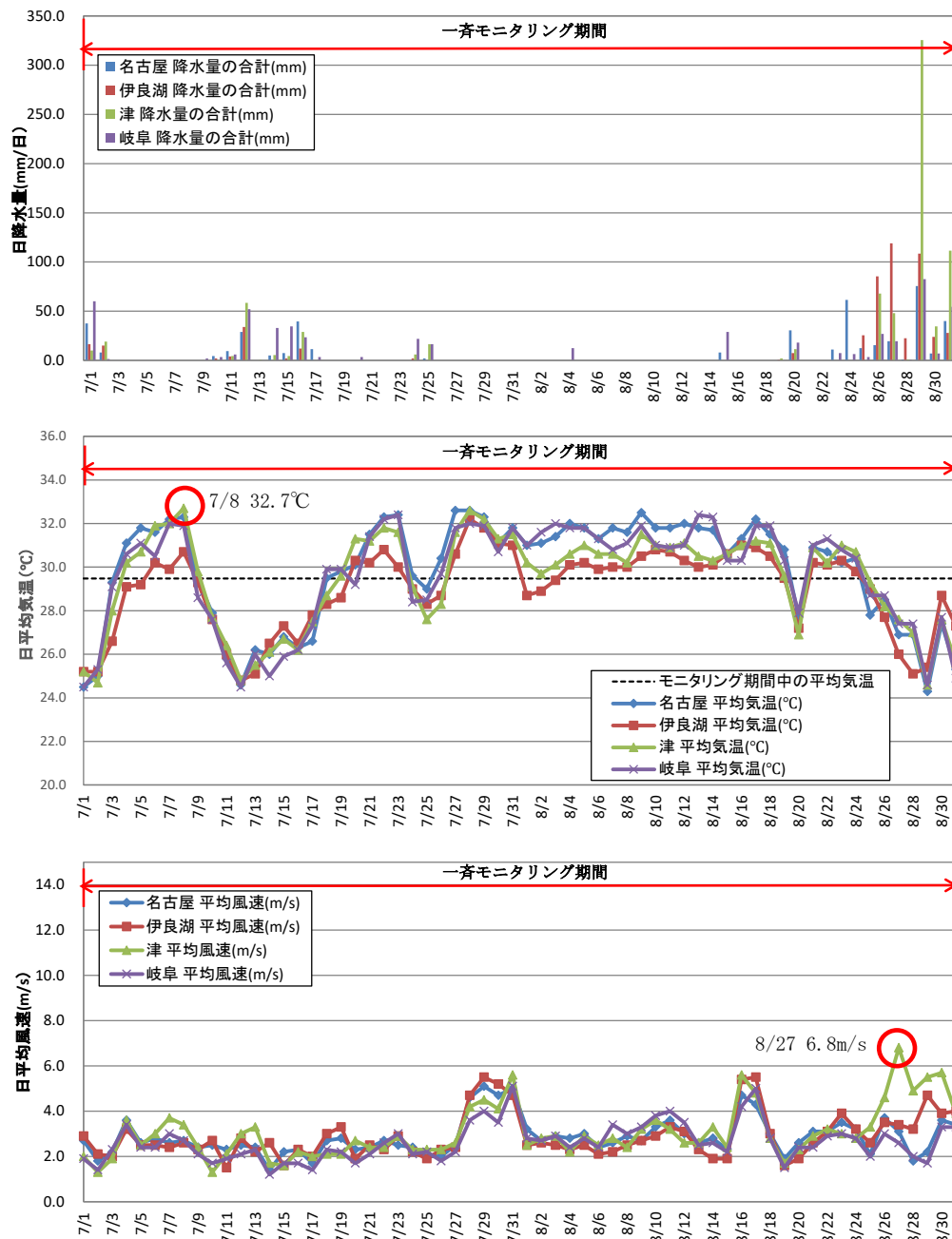
図 5-3 2025 (R7) 年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間の気象・海象状況②
(潮位・日照時間)

【参考】2024（R6）年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間の気象状況

2024（R6）年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間中、8月下旬に局所的な大雨を記録しています。

2024（R6）年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間中の平均気温は 29.5℃で、最高気温は、7月8日に津で観測された 32.7℃でした。

日平均風速は、8月の変動が大きくなっています。最大の平均風速は、8月27日に津で観測された 6.8m/s でした。



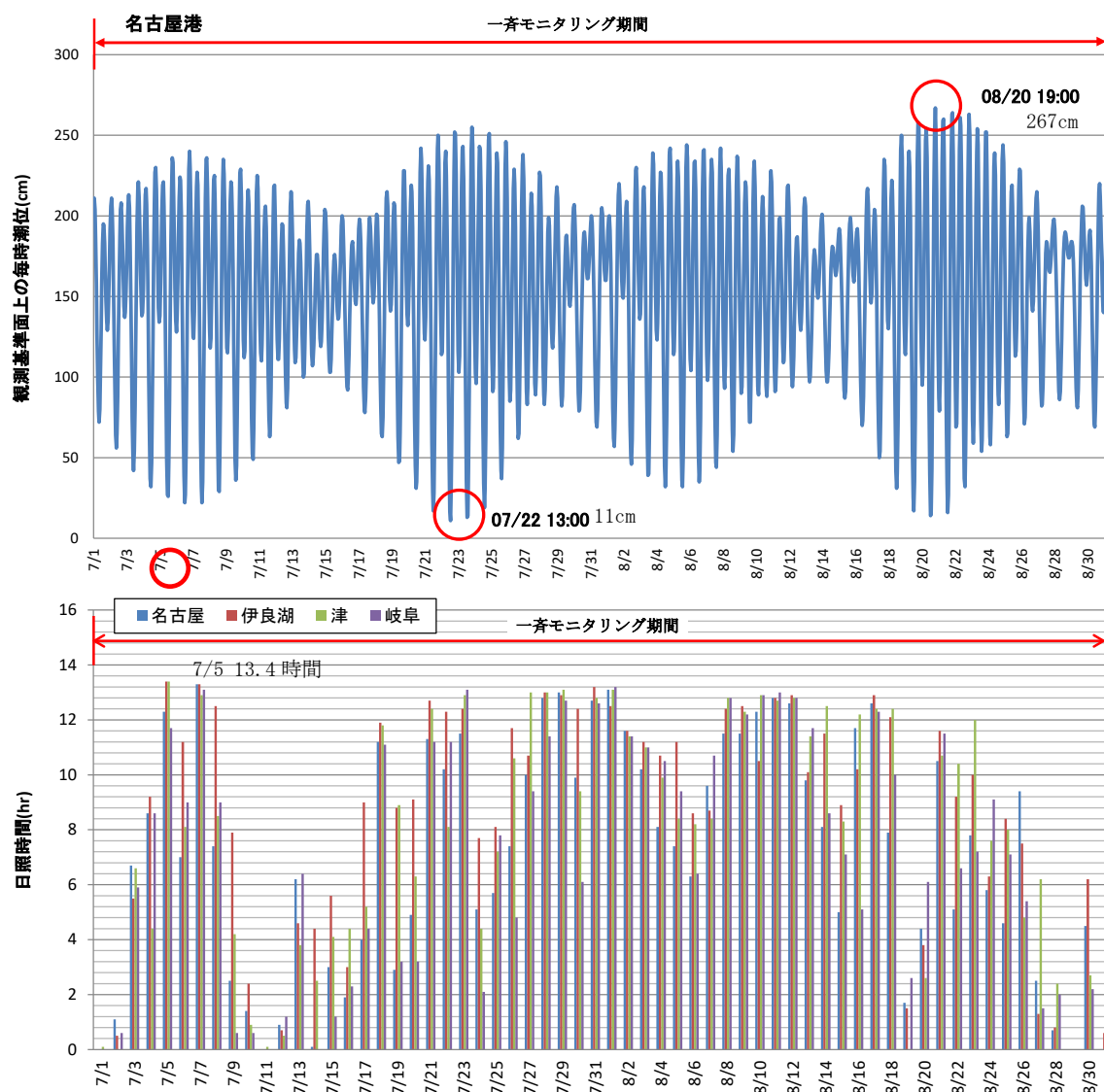
気象庁のデータから作成

図 5-4 2024(R6)年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間の気象・海象状況①

(降水量・気温・風速)

名古屋港の観測潮位について、7月～8月の最低潮位は7月22日13時に11cm、最高潮位は、8月20日19時に267cmとなっています。

日照時間の平均は7.7時間程度でした。日照時間の最長は、7月5日の伊良湖と津で13.4時間間でした。

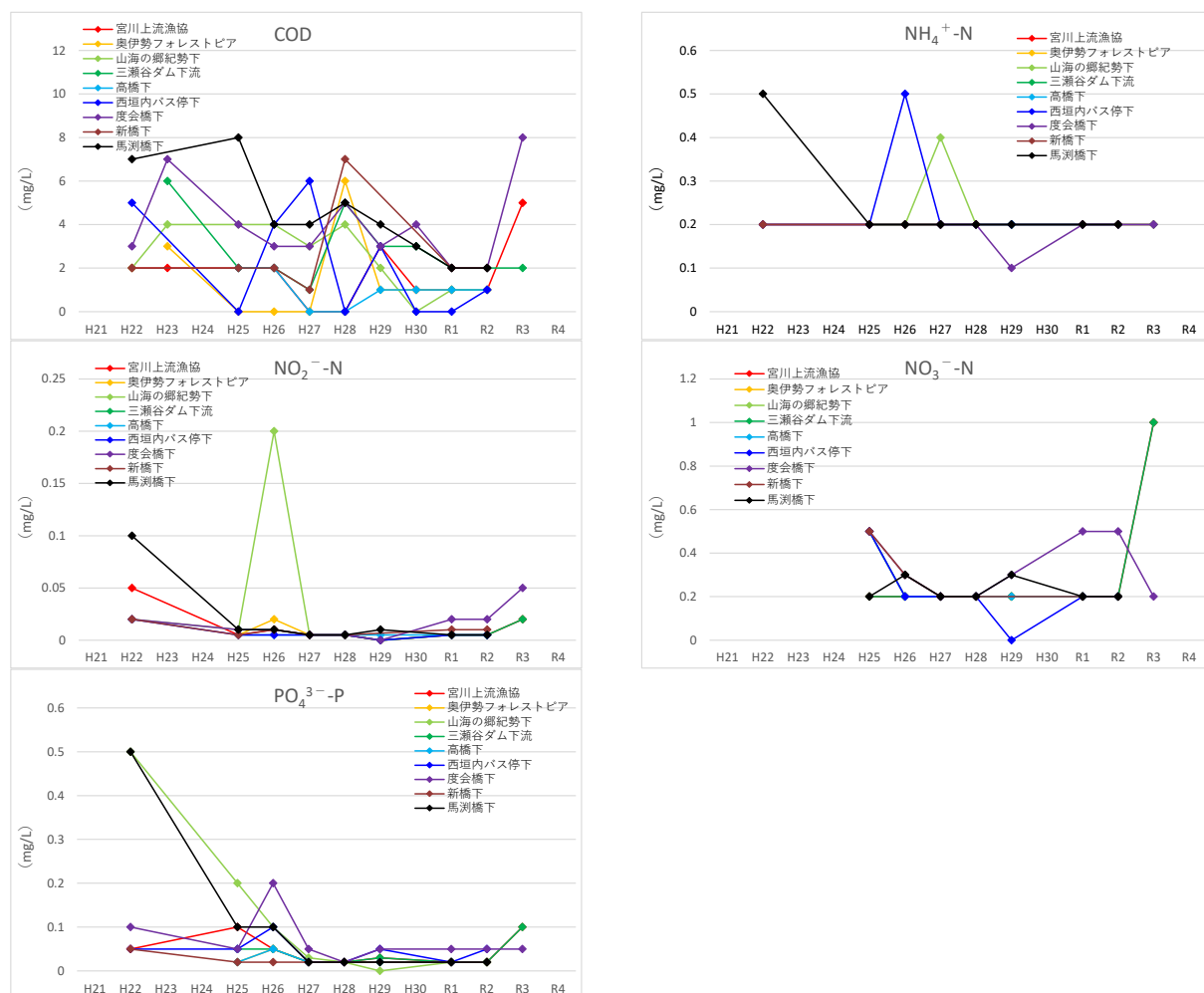


気象庁のデータから作成

図 5-5 2024(R6)年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング期間の気象・海象状況②
(日照時間・潮位)

6. 参考資料 2 定点的なモニタリングの結果

水質は気象条件や流域環境の変化等の影響を受けて年ごとに変動することから、単年度の調査結果のみでは評価が困難な場合があります。このため、定点的なモニタリングにより身近な河川や海辺等で経年的に水質調査を行い、水質の変動を観測していくことが大切だと考えられます。



※2022 (R4)～2025 (R7) 年度は未実施

図 6-1 伊勢市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

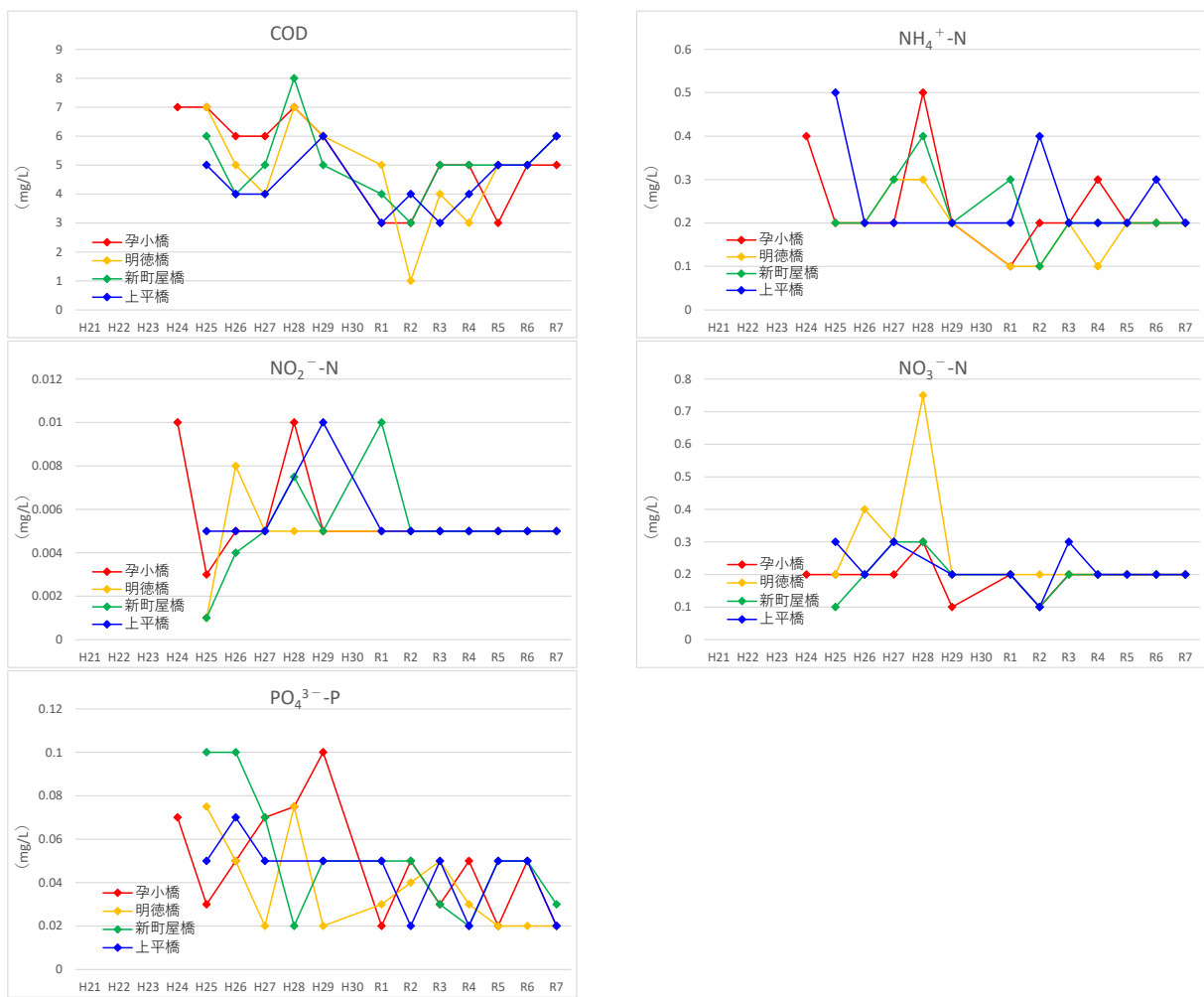


図 6-2 瑞浪市周辺の定点における水質調査結果の経年変化



図 6-3 可児市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

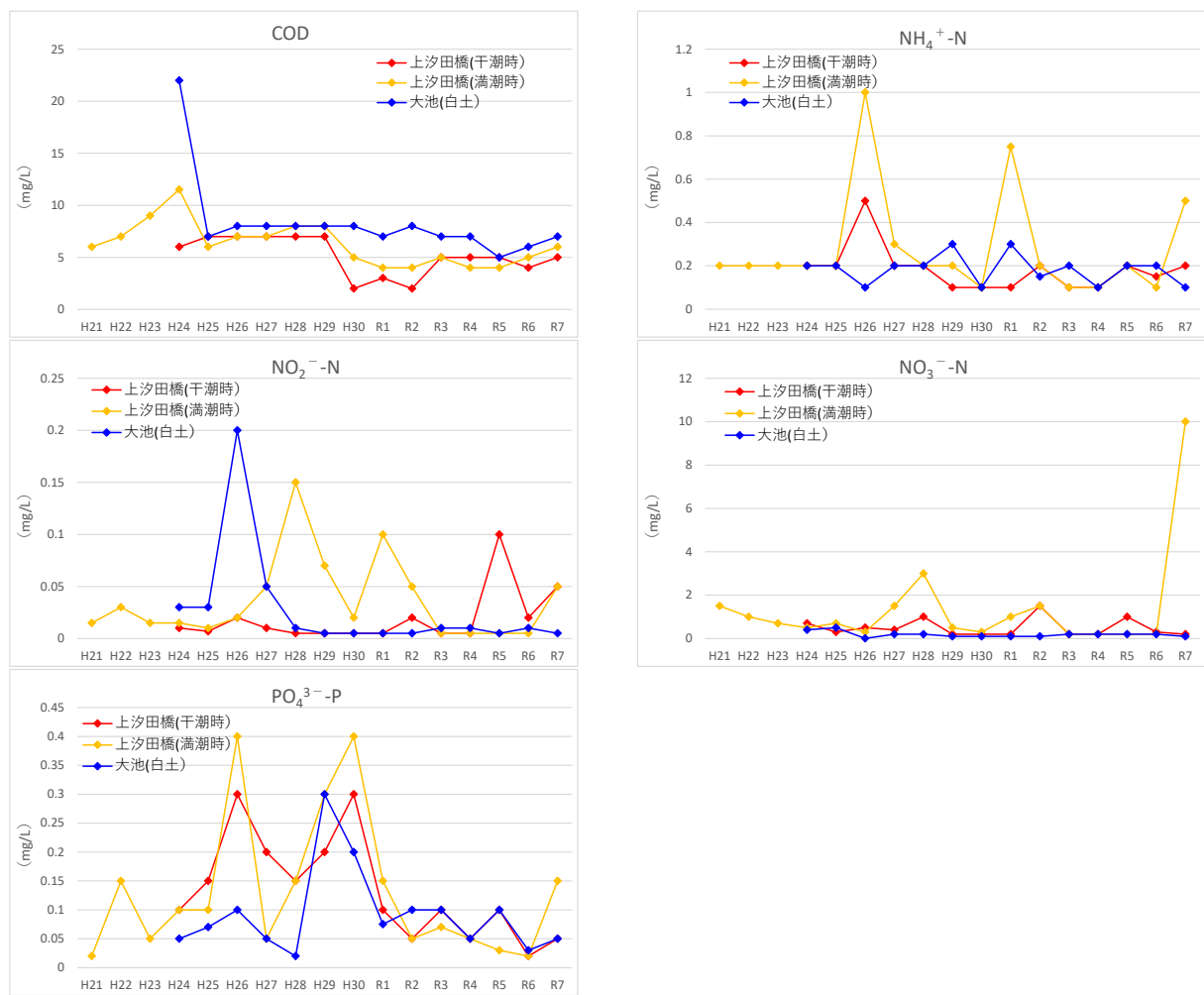


図 6-4 名古屋市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

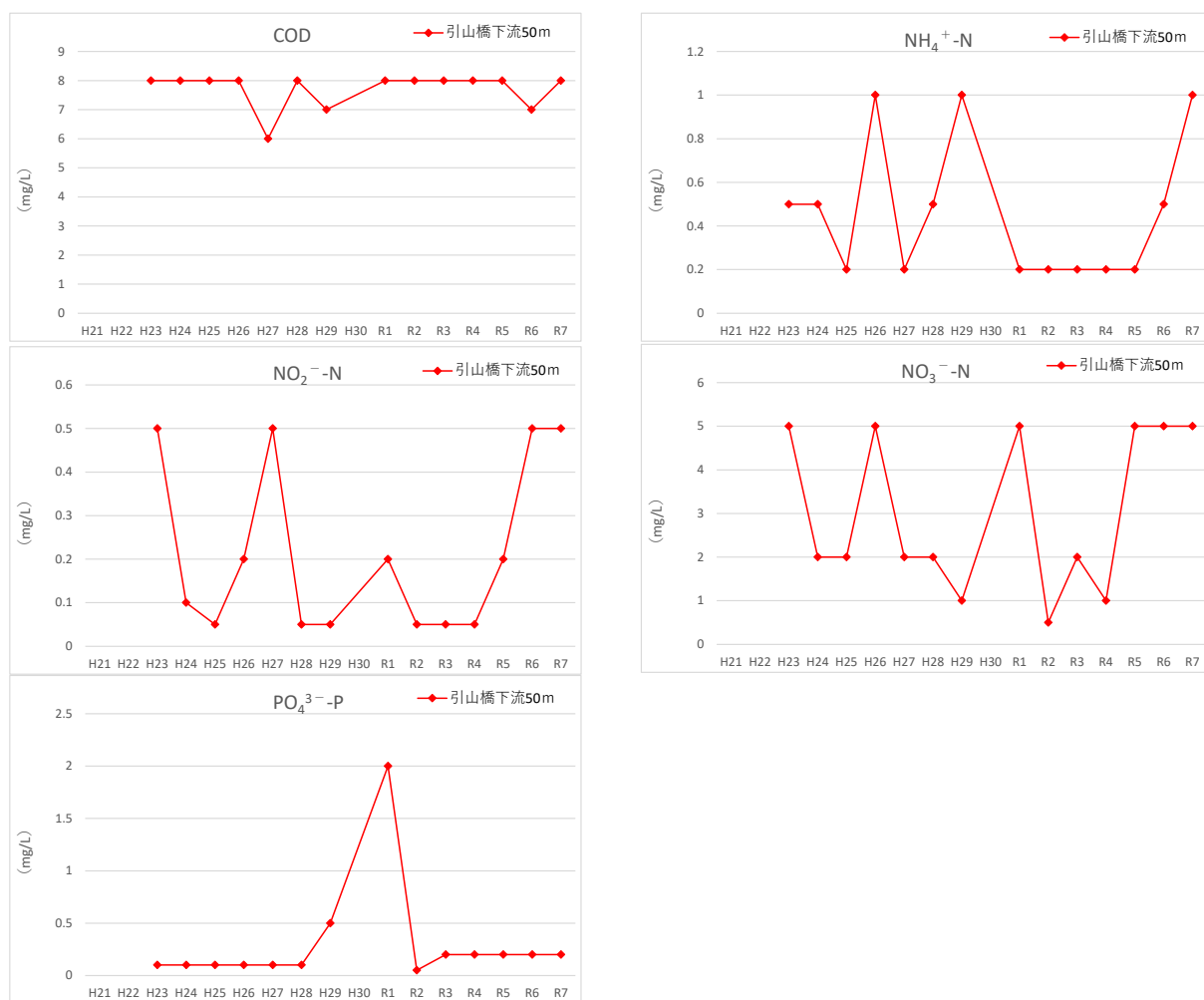
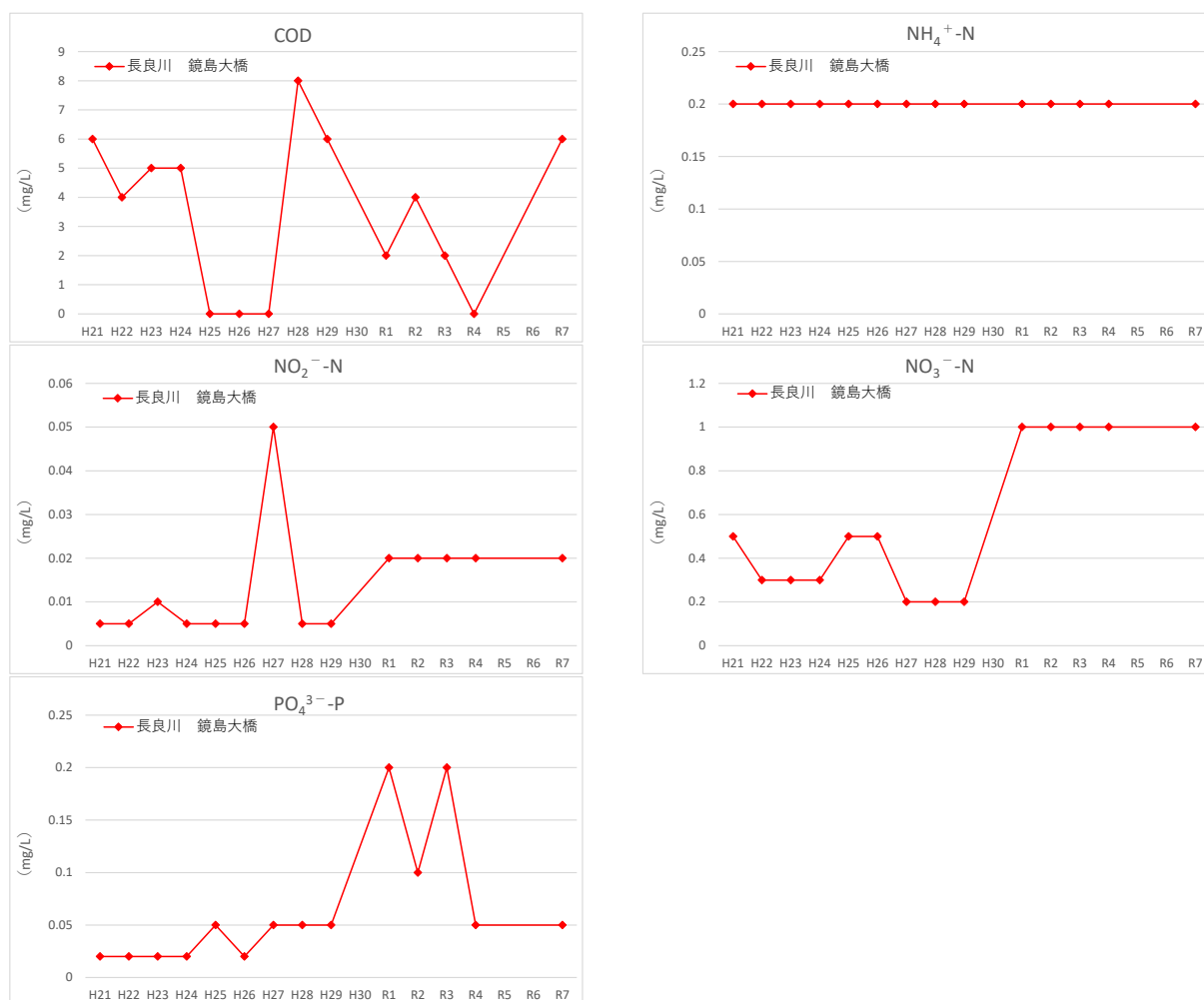


図 6-5 名古屋市周辺の定点における水質調査結果の経年変化



※2025（R7）年度は未実施

図 6-6 三重郡川越町周辺の定点における水質調査結果の経年変化



※2023 (R5)～2024 (R6) 年度は未実施

図 6-7 岐阜市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

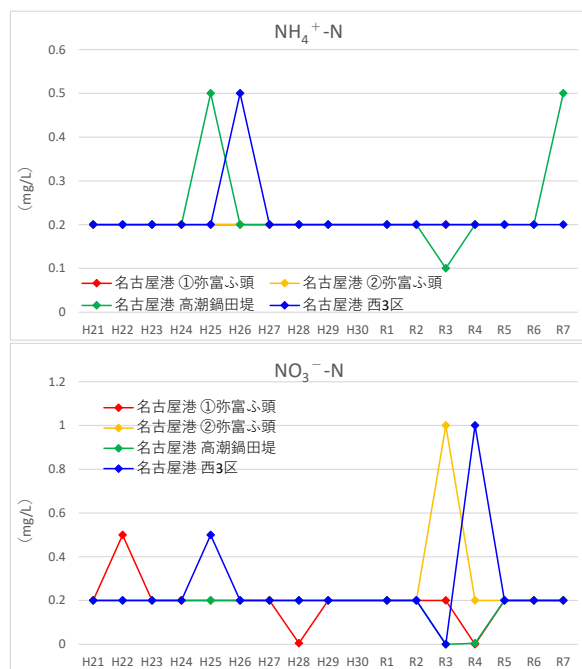
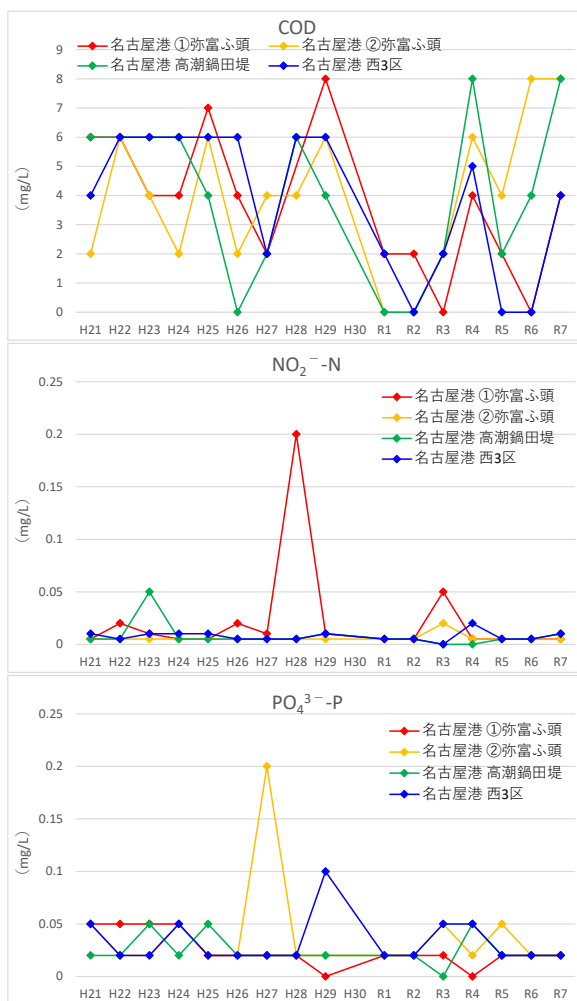


図 6-8 弥富市周辺の定点における水質調査結果の経年変化



図 6-9 豊橋市周辺の定点における水質調査結果の経年変化